

# SCOUTING

2019  
No.734

11

特集

スカウティングにおける指導者養成

## Adults in Scouting

# ウッドバッジ100周年と ウッドクラフトコース



CONTENTS

- 02 スカウティングにおける指導者養成  
ウッッドバッジ100周年とウッッドクラフトコース
- 07 新たなバッジを準備中  
カブスカウト対象 “新チャレンジ章”
- 08 野外活動のための安心・安全講座  
スカウト活動とSNS
- 09 ニッポン全国元気団紹介  
大分県連盟 大分第2団
- 10 ボーイスカウトPRムービーコンテスト  
入選作品発表!!
- 10 第47回  
全国ボーイスカウト写真コンテスト作品募集
- 11 第13回日本アグーナリー
- 12 スカウティングとSDGs  
— 一緒に考えよう! 持続可能な社会のために —
- 14 スカウティングと観察・推理 ③  
スカウトハイイクで発揮しよう、  
ナビゲーションと観察・推理の力。
- 16 維持会員
- 18 エッセイ
- 18 信仰奨励
- 19 ローカルホットライン
- 22 日本連盟情報
- 22 訃報
- 23 新春名刺交換のご案内
- 24 スカウトショップ

# スカウティングにおける指導者養成 Adults in Scouting

# ウッッドバッジ ウッッドクラフト

ウッッドバッジトレーニングと呼ばれる指導者訓練は、イギリス・ロンドン北東部にあるギルウェルパークにおいて、1919年9月8日～19日の11泊12日の日程で初めて行われました。

本年2019年は、ウッッドバッジトレーニング100周年の記念の年です。

日本連盟では、2022年に迎える日本連盟創立100周年に向け、現代の指導者に必要かつ適切なトレーニングを提供します。そしてウッッドバッジトレーニング100周年に期に、スカウティングの本質とウッッドクラフトの深い理解と活動のために、定型訓練としてウッッドクラフトコースを開設しました。

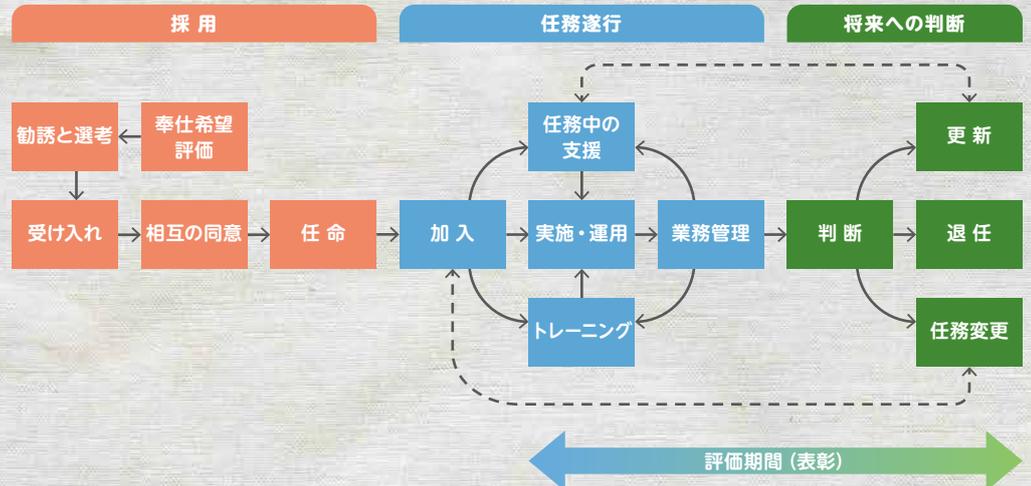
長期キャンプでしか体得できないウッッドクラフトの精神と技能を、指導者の皆さんにコースを通じて体得していただき、スカウティングを展開していただきたいと思います。

## Adults in Scouting (AIS) ポリシー

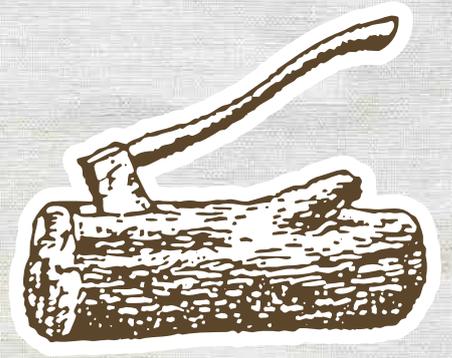
世界スカウト機構 (WOSM) は、成人の役割とのかかわりについて AIS ポリシーを制定し、各国で運用するよう求めています。

日本でも AIS ポリシーに基づいて日本の指導者養成方針と訓練体系を制定し、特に成人のライフサイクルに基づいた個々の成人指導者としてのかかわり方を推進しています。

### 成人のライフサイクル



# 100周年と コース



## ■ ボーイスカウト講習会

お子さんをスカウト活動に入れた保護者、スカウトから指導者へと進んだローバースカウト、これからボーイスカウトにかかわろうとしている方々。すべての人に講習会は開かれています。まずはスカウティングを体験して、知って、仲間と協力して、社会の役に立つ、そんな入り口に立ってみましょう。

## ■ ウッドバッジ研修所 スカウトコース

2016（平成28）年度より改定された隊指導者基礎訓練課程は、すべての部門の指導者が、共通の「スカウトコース」でスカウティングの基本である野外での活動と班の仲間たちとの生活を「行うことによって学ぶ」体験型の研修としています。「スカウトコース」履修後、部門別の特徴を学ぶ「課程別研修」の履修をもって基礎訓練を修了します。

## ■ ウッドバッジ実修所

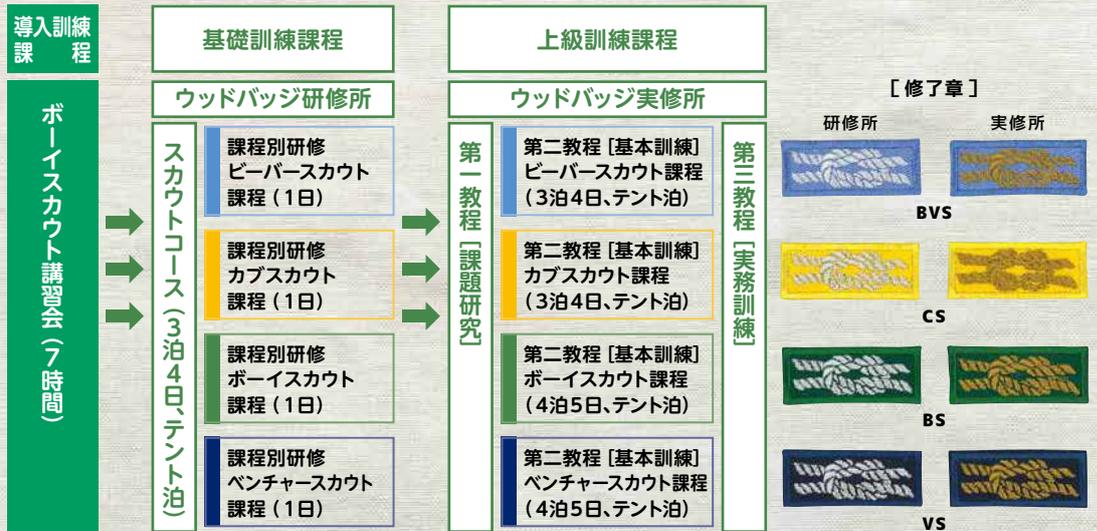
研修所での体験と自隊での活動をもとに、さらなる理論的な隊運営と実践的かつ体験的な野外での活動を、長期野営によって体得するのがウッドバッジ実修所です。この上級訓練をもって隊指導者はすべての訓練を会得し、スカウトに素晴らしい活動を提供することができます。すべての指導者が上級訓練を修了し、スカウトたちの笑顔と成長を見届けることを指導者訓練の最終目的としています。



# 日本連盟における現在の指導者訓練

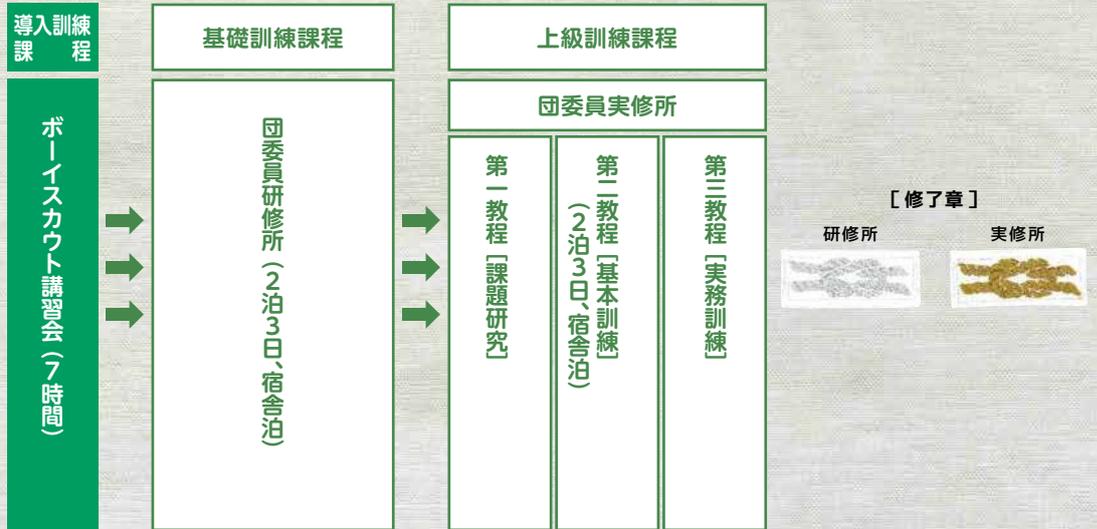
## ■ 隊指導者訓練

スカウト教育と活動に直接携わる指導者は、ボーイスカウト講習会を経て、自分の担当する部門の訓練を受けなければなりません。特に隊長は研修所を必ず修了し、実修所を修了することが望まれます。



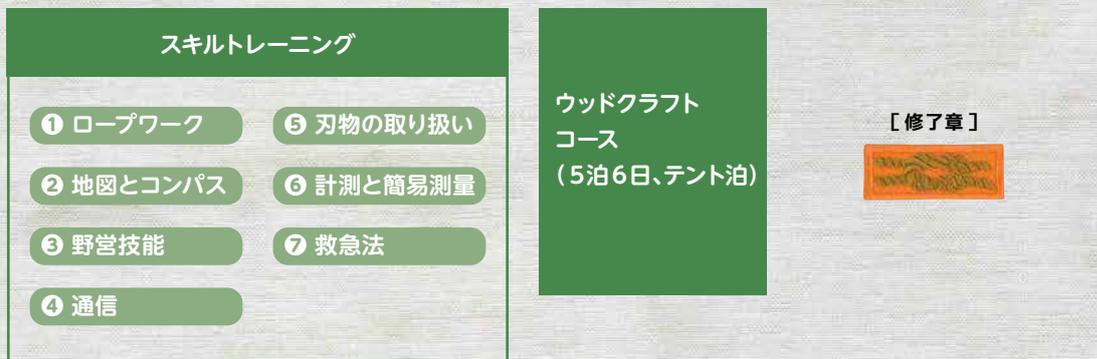
## ■ 団指導者訓練

団を運営する団委員は、団の活動が楽しく安全に行われるよう支援を行い、団の運営に責任をもち、将来に向かっての施策を推進しなければなりません。特に団委員長は研修所を修了し、さらに実修所を修了することが望まれます。



## ■ スカウトスキル

スカウト活動を楽しむ安全に行うために、スカウトスキルは欠かせないものです。すべての指導者が正しいスカウトスキルを身につけ、スカウトの成長につながる楽しいプログラムのために、ウッドクラフトの精神とスキルを身につけましょう。



## ■ コミッショナー訓練

コミッショナーは、指導者が活動や研修を進めるにあたっての身近な支援者です。コミッショナー自身もその任務の遂行のため、さまざまな研修を続けていきます。



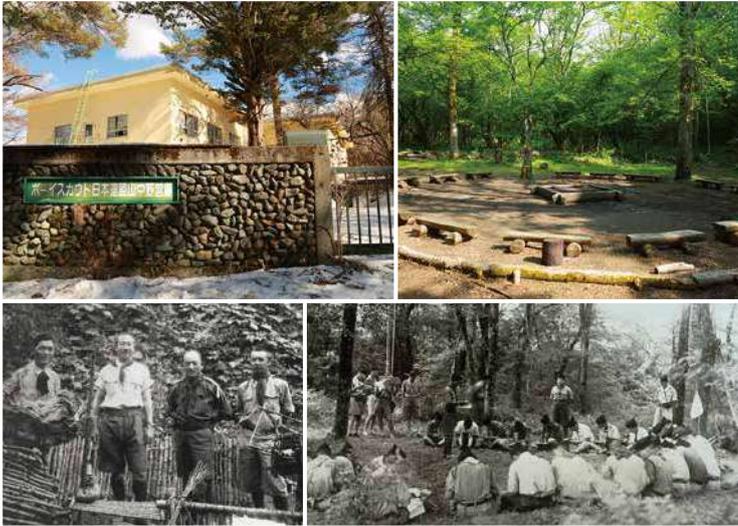
## ■ トレーナーコース

連盟の方針に従った訓練と支援を行うために、一定の経験と適性に従ってトレーナーとしての技能を習得するためのコースです。トレーナーはコミッショナーと協働して指導者の支援にあたります。



# History of Leader Training

## — 日本連盟野営場の変遷とともに —



### ■ 山中野営場

日本の指導者訓練を振り返るとき、山中野営場（山梨県山中湖村）を忘れることはできません。戦前から90年以上にわたってボーイスカウト運動を見守ってきた山中野営場を、惜しまれつつも2017(平成29)年8月末をもって閉場したことは皆さんもご存知のとおりです。1924(大正13)年8月、デンマークで開催された第2回世界ジャンボリーに参加した佐野常羽は、その帰途、英国ギルウェル訓練所スカウトコースを単独で受講し、1925(大正14)年8月、少年団日本連盟最初の本格的な「指導者訓練所」(のちの指導者実修所)をこの山中野営場に開設しました。佐野はベーデン・パウエル卿の理念を正しく伝えることに努め、武士道や禅の心を取り入れるとともに訓練所の指導方針に『清規三事』を掲げました。このように日本の指導者訓練のあゆみは山中野営場から始まったのです。



### ■ 那須野営場

戦後、新たなスタートを切った日本のボーイスカウトは、1950(昭和25)年、栃木県那須野町西三島(現:那須塩原市西三島)にある三島通陽(当時の理事長)の所有地を購入して常設野営場を設置しました。指導者訓練の再建を見据えて開場された場所こそが現在の「那須野営場」です。日本連盟はかねてから山中野営場のほかに主として指導者訓練に用いる野営場を持つことを計画していましたが、三島は敷地約1万6,000坪の農場と三島家旧日本邸(郷土資料館として近くに移築し使用していたが、焼失)を350万円余で日本連盟に譲渡してくれたのです。以後、中央実修所、日本ギルウェルコース、ウッドバッジ実修所など多くの訓練コースを開設し、指導者訓練のメッカとして現在に至っています。



### ■ 高萩スカウトフィールド

新たな指導者訓練場の歴史が始まります！

大和の森 高萩スカウトフィールド(茨城県高萩市)は日本連盟が所有する野営場で、2012(平成24)年に大和ハウス工業株式会社より寄贈を受けた82万坪の広大な森林です。茨城県や高萩市の協力を得て整備し、2017(平成29)年8月にグランドオープンしました。以来、地域社会と共生する施設として一般の方々を対象とした各種事業を展開するとともに、高萩のすばらしい自然環境を活かし、日本連盟主催の指導者訓練として、2018(平成30)年度にリーダートレーナーコース第37期、2019(令和元)年度には同第38期とウッドクラフトコース第1期を開設しました。今後も各種訓練コースを開設しますので、ぜひご参加ください。

報告

# ウッドクラフトコース第1期

日時：2019年9月21日(土)～9月26日(木)  
 場所：日本連盟・大和の森 高萩スカウトフィールド  
 参加者：15県連盟39人



1日目

9月21日[土]

- Craft 1 キャンプ技能
- Craft 2 設営と炊事
- Craft 3 歓迎の営火

開会式を行い、福嶋日本連盟コミッショナーの激励の言葉で WCC が始まった。WCC について全員で共通認識を確認、隊編成へ。その後、オリエンテーションを行い、隊のルールを確認。

班サイトや献立などの計画を立て、計画書に基づき設営。野営生活に必要なものを作り、炊事を行った。初日は歓迎の営火。参加者一人ひとりが6日間のコースへの思いを述べて決意を新たにした。

2日目

9月22日[日]

- Craft 4 班集会(技能訓練【ロープワーク、計測】)
- Craft 5 隊集会(ゲーム【ロープワーク、計測】)
- Craft 6 夜間ゲーム

高萩生まれの地理学者である長久保赤水にちなんだ「はぎまる」をテーマに、各班、班長会議で示された想定から必要なスキルを班会議で考え、班集会でスキルの確認を行った。隊集会では指令書をもとに班集会で確認したスキル使い対班競点。夜間ゲームではモールス信号を使った通信ゲームを行った。



5日目

9月25日[水]

- Craft 12 評価と表彰(ハイキング実施内容報告)
- Craft 13 野営祭
- Craft 14 大営火

高萩の大自然を満喫し、帰営後は報告書の作成とハイキングの報告会。また、3日目に実施できなかった隊集会も行い、夜は野営祭。各班で計画した思いの料理を持ち寄り、夕食をとった。そして、参加者一人ひとりが、初日からのふりかえりとこれからの取り組みについて話した。

3日目

9月23日[月・祝]

- Craft 7 バイオニアリング
- Craft 8 隊集会(バイオニアリング)
- Craft 9 夜間ゲーム

朝方まで降っていた雨も止み、ウッドクラフト開始。班集会では、隊集会に向けて縛材を使い通信塔を作成。組み立てやロープ結びはお手の物だが、縛材は切り倒したばかりの樹皮付きの重い生木で、皮むきから悪戦苦闘。あっという間に夕方に。予定していた隊集会は5日目に変更。

中間評価を行い、参加者各々が初日から3日目までの課題について確認、評価をした。同時にこれまでのウッドクラフトについてのスキルやプログラムの意図するところを確認し、ウッドクラフトの理解を深めた。

6日目

9月26日[木]

- Craft 15 撤営、場内整備

最終日。各班サイトは充実し、生活しやすい環境が整っていた。名残惜しさのなか、上級班長を中心に班長会議を行い、その後、撤営について各班で計画。撤営開始の合図とともに、作業開始。6日間使用した共同場所の清掃を行い、各班サイトには感謝だけを残し、撤営完了。

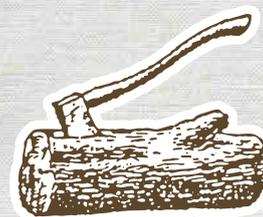
天気に恵まれたウッドクラフトコース第1期。解散式と閉会式を行い、充実感溢れる表情の参加者たちが帰路についた。

ウッドクラフトコースは、日本連盟100周年に向けた施策のひとつとして過去2回の試行を経て、本年度より定型訓練となりました。

ウッドクラフトとは、まさに自然の中で生活し、活動するために必要な技術や知識、そして心構えを指すものであり、野外を教場とする私たちの活動においてウッドクラフトはスカウト教育法を実践するうえでの本質的な部分であり、活動の基本となるものです。

まずは、指導者自身が楽しいプログラムの実施ができることがスカウト活動活性化の第一歩です。今後、ウッドクラフトコースは各地で実施する予定です。多くの指導者に参加いただき、すべての指導者がベーデン-パウエル方式のウッドクラフトを実行できるようになれば、より多くのスカウトの笑顔を見ることができるようでしょう。

すべての指導者に、ウッドクラフトコースへの参加をお願いしたいと思います。



新たなバッジを準備中

カブスカウト対象

# “新チャレンジ章”

昨年から取り組んでいる、企業とのコラボレーションによる新チャレンジ章。今春、昨年の3種に2つのバッジが加わって5種類で展開していましたが、新たにいくつかのバッジが加わる予定です。



## 新しく加わる分野のひとつは「STEM教育」

「STEM (ステム) 教育」については、本誌2019年7月号で「ボーイスカウトにおけるSTEM教育の取り組み」の中で簡単にご紹介しましたが、Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Mathematics (数学) の4つの教育分野を総称したものです。

今回は、企業等から助成と支援を受け、新チャレンジ章に「STEM教育」を取り入れ、展開していく予定です。プログラムの展開にぜひ活用してください。

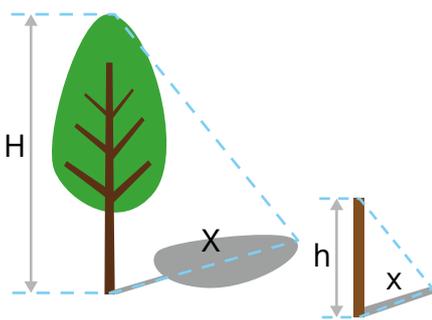
## やってみよう! 「STEM教育」

「STEM教育」= 理数教育というイメージで、苦手と感じられる方もいらっしゃるかもしれません。そこで、取り組みのヒントについて一例を示しながらご紹介します。

カブスカウトの進歩には、「Ⅲ 技能と野外活動」の中に「計測」があります。うさぎ課程なら、自分の体のいろいろな部分の長さを測る。しか課程なら、自分の体を使っているいろいろなものの長さを測る。くま課程なら、自分の歩幅を知り、50mを歩測するという設定があります。この技能と知識を活用してチャレンジしてみましょう。

### チャレンジ

#### 樹木や建物の高さを測ってみよう



#### 【用意するもの】

- 50cmほどの適当な長さの棒
- 巻き尺 (後で長いものも測れるよう、10～20mくらいのものがあると便利)

#### 【方法】

- 1 測りたいもの (樹木や建物、国旗ポールなど) を決める。
- 2 日中、対象物の近くで地面に棒を垂直に立て、棒と棒の影が同じ長さになったときに、対象物の根元から影の先までの長さを歩測などによって測る ( $h=x$  のとき、 $H=X$  になる)。

※ 棒がなくても、自分の身長で同様に測ることができる (あらかじめ立ち位置を決め、自分の身長距離に印をつけておき、影が合うタイミングを見る)。

小学校では、学習指導要領に基づいて3年生で「太陽の動き」(太陽の位置について影を使って実験)を学習しますが、左のチャレンジは、こういった知識を活用しながら行うものです。ちなみに、これは紀元前、数学者で哲学者のタレスがピラミッドの影の長さからピラミッドの高さを求めた方法と同じです。

ボーイスカウトでは、ふだんの活動の中で、ときに学校で得た知識と今まで修得した技能を活用していきます。「STEM教育」についても同様に取り組みましょう。

## 目指すのは、「学びのプロセス」

「STEM教育」は、ふだん身の回りで起きている事象などから、①それが「なぜ」起こるのか、どうしてこうなったのかを観察、②そこから「答え(仮説)」を考え、③「チャレンジ(実践や実験)」を通じて「どうなったのか」を探り、④その結果からわかったことをまわりの仲間と共有する、という流れ(プロセス)を体験します。

スカウトは科学的な思考やプロセスを学校でも経験していますが、スカウト活動(特に野外活動)の中で行うことによってその学びを補完し、野外活動にもSTEMに通じる知恵や体験がたくさんあることを知り、自然をより深く理解できるようになることを目指します。



今後新たに加わるバッジ(「STEM教育」含む)は、順次掲載してまいります。すでに展開しているバッジと合わせ、最新情報は日本連盟ホームページをご覧ください。

<https://www.scout.or.jp/member/department/challenge-badge/>



## ■野外活動のための安心・安全講座

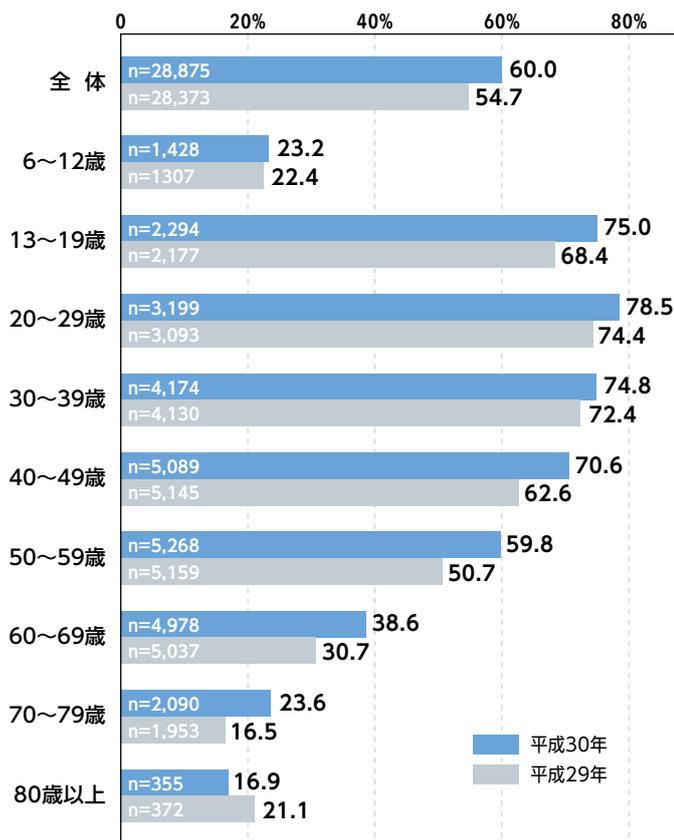
## スカウト活動とSNS

## SNS の利用状況

SNS (Social Networking Service) とは、インターネットを介して人と人のつながりを促進・サポートするサービスの総称です。Facebook や Twitter、Instagram が有名ですが、中高生の間で人気があるのは、TikTok (ティックトック)、MixChannel (ミックスチャンネル)、YouTube などの動画投稿・共有型の SNS です。無料通話なども可能なコミュニケーションアプリの LINE も SNS 機能を有しています。

総務省が本年5月31日に発表した「平成30年度通信利用動向調査」の結果によると、6歳～12歳で23.2%、13歳～19歳では75.0%が何らかの SNS を利用しています。モバイル端末の所有状況では、6歳～12歳で46.1%、13歳～19歳では87.4%が携帯電話やスマートフォン(以下、「スマホ」)を所有しています。スマホの所有率は6歳～12歳で32.9%、13歳～19歳では83.4%であり、中高生はほとんどがスマホで SNS を利用している状況です。

## ■ソーシャルネットワーキングサービスの利用状況(個人)



出典：総務省「平成30年度通信利用動向調査」

## インターネットトラブル

このようなモバイル端末の普及、SNS の利用拡大に伴って急増しているのが、インターネットトラブルです。スマホの過度な使用による日常生

活への支障や、無料通話アプリなどでの悪口や仲間外れ、なりすまし投稿による誹謗中傷、SNS やインターネットで知り合った人による性犯罪被害、コミュニティサイトなどを使った未成年によるアプローチ(援助交際)、ワンクリック詐欺や不当請求、個人情報漏えいなど、以前では考えられない危害に子どもたちが巻き込まれるようになりました。今回はいろいろなトラブルの中から、子どもが起こしやすい「無料通話アプリなどでの悪口や仲間外れ」について取り上げます。

無料通話アプリのグループトークで生じる「悪口」や「仲間外れ」、それがエスカレートした「いじめ」は、学校現場でも一番頭を悩ませているところです。クラスの仲良し数人でやっているグループトークで、Aさんが「B子っていつもピントが外れた発言するよね」と書き込み、最後に「(^.^)コ」をつけ忘れたまま、食事のため1時間ほどスマホから手を離していました。その間にほかのメンバーから「ひどい!」「Aって生意気だよ」となどの書き込みが……。Aさんが誤解を解こうと書き込んで、反応はありません。翌日以降もグループトークにメンバーが参加することはなく、Aさんを除いたメンバーが別グループを作り、仲間外れにされたことにAさんは気づきました。顔を合わせた会話なら、Aさんの表情から「それってひどい」とB子さんも笑って返せる会話も、文字であるために誤解や感情の行き違いを生みやすいのです。

## トラブルに備えて

これだけ SNS が普及してくると、日常の交友だけでなく班内の連絡などに SNS を利用するスカウトもいるでしょう。今、学校で問題になっている上記のような仲間外れやそれが発展したいじめが、班あるいは隊、団の中で起こらないとは言いきれません。メンバーでなければ会話の内容を読むことができないため、トラブルの発見が遅れがちになります。保護者とよくコミュニケーションをとって、スカウトたちの日常の変化に気づくこと。これがトラブルの早期発見や解決につながります。トラブルを察知した場合は、できるだけ早く、当事者双方の状況やこれまでの書き込みの内容等を確認して、和解を図ります。その際には、予断を交えず公平な立場で、傾聴の姿勢で子どもたちに接することが大切です。周囲と違う意見が言いづらい雰囲気(同調圧力)が、いじめに発展するケースもあります。「空気を読む」ことの功罪を考え、日ごろの活動の中で思いやりの心を育てることが大切です。

また、保護者との連絡や指導者間の連絡に SNS を利用している隊や団もあるでしょう。大人だから大丈夫と過信せず、隊や団で一定のルールを設けて利用しましょう。インターネットやアプリは、安全に正しく使うことができるとても役に立つツールです。これからの時代を生きる私たち(スカウトを含めて)にとって、情報活用能力は不可欠です。モバイル端末や SNS を「安全に使うための知識」や「ルールを守って使える心」を育むことが大切です。

「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会

## [参考資料]

- ・総務省「平成30年度通信利用動向調査」
- ・総務省「インターネットトラブル事例集(平成29年度版)」
- ・モバイル研究所「データで読み解くスマホ・ケータイ利用トレンド2018-2019ケータイ社会白書」
- ・文部科学省「情報化社会の新たな問題を考えるための教材～安全なインターネットの使い方を考える～ 指導手引書」(動画教材を含む)

# ニッポン全国 元気団 紹介

## 大分県連盟 大分第2団

九州北東部に位置し、温暖な気候に恵まれ、海や山などの自然豊かな大分県は、日本一の温泉湧出量を誇る「おんせん県」としても人気がある。大分県沿海部のほぼ中央、県庁所在地の大分市で、スカウト約70人が活動する大分第2団にお話を伺った。



## 「童心」をキーワードに、着実に歩む60年。

### 休団を経て、今やスカウト70人

1951（昭和26）年、「地元にあげまちにボーイスカウトを」という荷揚町小学校校長の要望を受け、金光教大分教会のメンバーが指導者講習会を受講。荷揚町小学校の児童16人のスカウトで、大分第2団が誕生し、5年ほど活動したものの、指導者不足等により休団を余儀なくされた。

その後、かつての指導者が中心になり、1961（昭和36）年に復活。翌年にはカブ隊が発足し、ボーイ隊が第3回日本ジャンボリーに参加、鼓笛隊の結成など発展を遂げた。特に鼓笛隊は、市中のパレードで演奏するなど、地域への露出により新規入団に役買っていたという。

しかし、今から16年前の2003（平成15）年、カブ隊3人、ボーイ隊6人、ベンチャー隊6人と、再度、休団の危機が訪れた。このとき、指導者体制の立て直しと地元小学校や幼稚園、保育園へのチラシ配布を始め、スカウトが15人だった団は、2018年には全隊合わせて70人を超えるまでに成長した。



### 現況を把握した体制づくり

年2回開催している体験会は、その年により主な対象学年を変える。ビーバー隊とカブ隊全隊を対象としつつ、その年に人数が少ない学年へ重点的にチラシを配布するなど、団の状況に応じて効率的な体験会を開催するためだという。

スカウトの家庭に対して団で推奨している独自の取り組みも、家庭事情を考慮したもの。近年、この団では兄弟姉妹での参加が多い。そこで、活動費の負担を軽減するためにひと家庭につきスカウト2人目以降は活動費を半

額にしている。これが、家族そろっての参加を促すことになり、結果として入団者の確保や中途退団者の減少、保護者の協力（ひいては指導者確保）にも繋がっている。

団の状況を把握し、さまざまな取り組みを推進することで、現状に甘えず、常に前を向いて進むことができるのである。



### 活動の充実

団本部は大分駅から徒歩圏内にある。商業ビルなども多い立地ではあるが、少し移動すれば海、山、川など、多くの自然の中での活動が可能だ。

ビーバー隊では、家族の協力を得て田植え体験をするなど、自然に触れる機会を多くもつほか、一年中いつ見学者がきても楽しいと感じる活動を展開している。カブ隊は、年間プログラムにデンリーダーや保護者の意見を取り入れ、ニーズに即した計画を立案。地域ならではの温泉に関するプログラムや、地域商店街との連携を重視したプログラムを行う。ボーイ隊では基本を大切に、班の自治をしっかりと確立させ、スカウトが自分たちの手でプログラムを作り、楽しむ。そのため、どんな内容の活動でも出席率は高く、部活動のためにキャンプ場から学校に行き、またキャンプ場に戻ってくるというスカウトもいる。ベンチャー隊は、受験前の中学3年9月に上進し、休団しても団行事には顔を出したり受験終了後には先輩たちの歓迎を受けたりと、スムーズに活動に戻れる工夫をしている。ローパー隊は県外に出ているスカウトが多いが、近況報告等の連絡を欠かさず、長期の休みなどを利用

して活動に参加するなど、指導者としての今後の活躍が期待できる存在になっている。

### 保護者からの信頼

大切にしているのは、SNS等で活動内容やスカウトの様子を共有することや、指導者がスカウトや保護者と程よい距離感を保つこと。これによって、保護者が活動に深い理解を示すと同時に、団や指導者に対する信頼が生まれる。指導者への信頼は、活動の協力へ繋がるほか、スカウトに「自分の親が信頼する人」という認識を抱かせ、スカウトが指導者を尊敬することにも繋がる。

10年ほど前には保護者の中で自主的に、保護者同士の親睦を深める「保護者会」が発足した。これにより、横の繋がりを強化した保護者と熱意ある指導者の関係が確立され、団全体の連携がより強固なものになった。特に指導者は「童心」をキーワードにスカウトと同じ目線に立つという心持ちで活動に関わり、こうしたことがスカウト活動の充実にも効果を生む。

### 前進あるのみ

再発足からまもなく60年。常に「人が組織を作り、組織が人を育てる」という意識でやってきたという。少しでも発展していけるように、指導者体制を整え、活動を充実させ、前進してきたという自負がある。休団の危機を迎えても、復活という希望を失わず、仲間とともに前に進んできた大分第2団。今後もスカウトと指導者、保護者が同じ方向へ、一歩ずつ着実に歩みを進めていくことだろう。



お話を伺った皆さん。「スカウトとともに大人も成長させてもらっている」という感謝と熱意をお話いただいた。



ボーイスカウト PR ムービーコンテスト

## 入選作品発表!!

本年で3年目の開催になる「ボーイスカウト PR ムービーコンテスト」。今号では、最優秀と優秀に選ばれた作品を発表いたします。最優秀と優秀に選ばれた作品の撮影者には、パナソニック株式会社にご協賛いただいたウェアラブルカメラをお贈りいたします。

また、今年は企業賞を新設いたしました。こちらの審査結果は日本連盟ホームページで発表いたします。

なお、すべての入賞作品を、本コンテストの特設ページからご覧いただけます。ぜひご覧ください。

最優秀と優秀作品について、俳優でボーイスカウト指導者の金田賢一氏に審査コメントをいただきました。



金田賢一氏



スカウト活動は言葉や人種が違って同じ精神を共有している。いわゆる「同じ釜の飯を食った仲間」みんな同じ地球の仲間たち。それを体感できる活動というPRがうまく表現できている。テロップの入れ方に一工夫欲しかった。



唯一のドラマ仕立てを選びました。演技や撮影にツッコみどころ満載ですが、これに基づいて長い作品にすれば面白いものになりそうな気がします。キムスよりも三角巾、地図の方を早回しでキチンと描いた方がスキルを見せるのに効果的だと思う。

タイトル  
24WSJ

大阪・大阪第63団 ローバースカウト  
西原 貴彦

テーマ：エンターテインメント

世界ジャンボリーってなにをするの？を24wsjで体験した内容を元に紹介。

タイトル  
ボーイスカウト探偵

大阪・東大阪第4団 カブ隊隊長 岡崎 竜久  
テーマ：エンターテインメント

ストーリーの動画をあまりみなかったので製作しました。ボーイスカウトの技術は、まさに探偵のような観察力や技術を多く活用できると感じたので、このストーリーになりました。

<https://www.scout.or.jp/member/prmc2019/>

## 第47回 全国ボーイスカウト 写真コンテスト作品募集



全国ボーイスカウト写真コンテストは、47回目の開催になります。スカウトはチャレンジ章「写真博士」や技能章「写真章」に挑戦、指導者はスカウトが仲間と一緒に活動を楽しんでいる様子などの活動記録を撮影し、コンテストに応募しませんか？

あなたの撮影した写真が、日本連盟のPRに使用されるかもしれません。たくさんのご応募、お待ちしております。

テーマ：ボーイスカウト

サブテーマ：「笑顔」「野外活動」「友情」

※少年の部はテーマ自由

■部門 「少年の部」撮影者が中学生以下、「青年・成人の部」撮影者が高校生以上

■サイズ サービス判以上四つ切り以下

■審査委員長 田沼武能氏（写真家）

■主催 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

■締切 2020年2月29日（土）当日消印有効

■発表 本誌2020年5月号に掲載予定（入賞者には直接通知します）

■応募方法 写真の裏に応募用紙を貼って郵送してください。応募用紙は日本連盟のホームページより取得可能です。※用紙に記載すべき項目をすべて記載していただければ、別の用紙（手書き）でも構いません。

■応募上の注意

▶応募は本人が撮影した作品に限ります。必ず、撮影者本人の年齢に応じた部門へご応募ください。※他者（保護者や指導者など）が撮影したと判断できる作

品が、スカウト名義で「少年の部」に応募されていることが見受けられます。審査対象とみなせない場合もありますので、コンテスト開催の意義をご理解いただき、正しくご応募ください。

▶応募用紙への記載や発送も、できる限り撮影者本人で行ってください。ただし、発送については、隊でまとめるなど代理者が行うこともできます。

▶応募作品は、2019年1月以降に撮影した未発表のもので、肖像権を有する人物および建築物などが写っている場合は、応募に際し、権利者（未成年の場合はその保護者）の了承を得てください。

▶応募作品は返却いたしません。

▶データのみの応募は受け付けできません。

▶応募作品は、入賞発表のほかに日本連盟の印刷物等に掲載することがあります。

▶応募作品の著作権は主催者に帰属します。



ご応募やお問い合わせは、日本連盟事務局 社会連携・広報部まで。

<https://www.scout.or.jp/member/47thphotocontest/>



# 第13回 日本アグーナリー

## 13th NIPPON AGOONOREE

We Can! ふかめよう<sup>ゆうじょう</sup>友情! ひろげよう<sup>きずな</sup>絆!

### ■ 予定申し込み受け付け中!

参加申し込みは、予定申し込みと確定申し込みの2段階制です。日本連盟ホームページ内13NA ページの申込フォームからお申し込みください。

予定申し込みがない場合、確定申し込みはできません(予定申し込み後の参加者変更は可能です)。確定申し込みをもって正式な参加申し込みとしますので、日本連盟ホームページなどで発信する今後の情報にご留意ください。

予定申し込み  
締め切り **2020(令和2)年2月15日(土)**

### ■ 13NA 現地説明会 [報告]

大会開催のちょうど1年前にあたる本年8月11日(日)から12日(月)の1泊2日、福島・国立磐梯青少年交流の家で現地説明会を開催。20県連盟56こ団から74人が参加し、会場視察、準備状況報告、質疑応答や意見交換を行いました。現地説明会の報告書を日本連盟ホームページに掲載していますので、参加を検討されている隊などは、ぜひ参考にしてください。



日本連盟ホームページ内にある13NAのページでは、「現地説明会報告書」「基本実施要領」「参加申込要領」「チラシ」などを掲載しています。詳細はこちらからご確認ください。



<https://www.scout.or.jp/member/event/13na/>



#### COLUMN

## 日本アグーナリーで チャレンジしましょう

13NA 実行委員  
櫻井 康博



障がいのあるスカウトにとって、日本アグーナリー(NA)はチャレンジする大会です。

私にはNAで忘れられないスカウトがいます。そのスカウトは麻痺によりふるえる手でマッチをすり、30分かかってやっとかまどに火をつけることができ、一緒に喜びあいました。何か月も前からマッチで火をつける練習を繰り返して大会に臨んだそうです。また、話すことが苦手なスカウトが、全国から参加するスカウトと仲良くなりたくて自己紹介カードを用意し、私にくれたこともありました。カラフルな絵を描いたカードを隊集会で何枚も作ったそうです。これがヒントになり、NAでは参加者が名刺を作って持参し、交換することが続けられています。

特に障がいのあるスカウトが多く所属している団にとって、NAは4年間のスカウト活動の成果を確かめられる貴重な大会です。ある団では、日ごろの活動のひとつにドラム隊を位置づけ、練習を重ねて披露します。NAではこのドラム隊の演奏に

合わせて、大会テーマソング「かがやけアグーナリー」を参加者全員で合唱することが恒例になっています。また、NAに野営で参加できるように準備や訓練を積み、9NAからチャレンジし続けている団もあります。さらに、地域の他団と定期的に交流を続けている団では、複数の団で派遣団を編成し、力を合わせてNAでさまざまなことにチャレンジしています。さらに、保護者が同行しないことを原則にNAへの参加を続けている団もあります。NAを終え、見違えるように成長して帰郷するスカウトの姿に、保護者は大変驚き感動されるそうです。

NAの閉会式では「がんばったよ」「うれしかった」「アワードとれたよ」と、スカウトはくしゃくしゃな、笑顔だったり、泣き顔だったり……。達成感と自信、そして誇りが伝わってきます。そして「4年後また会おうね」「もっとおにいさんやおねえさんになってくるからね」「障がいがあってもがんばるからね」と、皆が新たな目標を見つけ、会場を去っていくように思えるのです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGs (Sustainable Development Goals) とは

突然ですが、このマークを見たことはありますか？

これは、2015年9月の国連サミットで採択され、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された国際社会共通の目標である「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」、いわゆる「SDGs」がどんな内容なのか、一目で分かるようにカラフルなアイコンで示したものです。

SDGs は、2016年から2030年までの国際目標で、「17の目標」と、その目標を達成するための具体的な「169のターゲット」で構成されています。

# スカウティングとSDGs

— 一緒に考えよう！ 持続可能な社会のために —

活動しました！

## スカウトの日

地域の人と、地域のために、  
私たちができること



9月第3月曜日(敬老の日)を中心とした日程で、全国各地において団や地域の特徴を活かしたさまざまな活動が実施されました。

カントリー大作戦が共通テーマだった頃から取り組んでいる団が多いからか、環境保全や環境美化の活動に取り組む団が多く、ふだんの活動場所周辺(道路や駅、公園、神社など)のゴミ拾いをしながら活動資材(環境マークプログラム)を活用して環境について学んだという報告が多くありました。このほか、川岸や海岸などへ流れ着いた漂流物の回収活動に取り組んだり、道路標識や郵便ポストを拭いたりといった活動報告なども寄せられました。さらに、老人ホームの訪問や介護活動、各種災害への義援金募金活動、地域の秋祭りでの奉

仕活動など、多岐にわたる活動が行われています。

- 日 程 9月16日(月・祝)
- テ マ 地球大好き！ I Love the Earth.
- 活動場所 全国各地
- 後 援 文部科学省、厚生労働省、環境省
- 協 賛 一般財団法人セブン-イレブン記念財団



考えてみよう！

## 夏のキャンプ

この夏、キャンプに行きましたか？  
おいしい食事を食べましたか？



ここで質問です。あなたは、自分が使った道具や食材がどのように作られているか考えたことはありますか？

買い物には「マイバッグ」を持っていきましたか？プラスチック消費量の多さは、世界の大きな問題のひとつです。「レジ袋はいりません」と言うことで、日本全国のプラスチック消費量をちょっと減らせるかもしれません。

食残しはしていませんか？自分たちに本当に必要な量だけを買えば、無駄に捨てることがなくなります。自分たちが捨ててしまった食材、それと同量の食材があれば飢餓で苦しむ人がいなくなると知っていたら、皆さんは食材を無駄にはしないでしょ。

では、マーガリンやお菓子、洗剤など幅広

いままでの国際目標は、一部の先進国が作り上げ、ごく狭い国々の中で取り上げられてたのに対し、SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを目指し、世界が一丸となって達成すべき目標とされていることが特徴です。

日本でも、国として積極的に取り組んでおり、多くの企業や団体ではすでに取り組みが始まっています。では、企業や団体だけに任せておいてよいのでしょうか。

「突然言われても、何をしたらいいかわからない」「自分一人が動いても何も変えられない」と思うかもしれませんが、そんなことはありません。一人の行動が大きな力になります。

私たちは、いづどこにいても社会とつながって生活しています。学校や会社、買い物や移動中であっても切り離すことはできません。それはスカウト活動中や活動場所へ向かうときも変わりません。

まずは、自分のこととして「考える時間」をもつこと、そして小さなことでも「自分だからできる」と行動すること。最初の一歩を踏み出すことで次の一歩が見えてくるはず。



## ボーイスカウトとSDGs

世界スカウト機構（WOSM）は、これまで一世紀以上にわたり「Creating a Better World（より良き世界をつくる）」の実現のため、さまざまな問題や課題に対してサポートを行ってきました。そして現在は、国際目標であるSDGsについての取り組みを進めており、近年では「Scouts for SDGs」の言葉を掲げて、スカウトと指導者が自分たちでできることに取り組む活動につながっています。

日本連盟はこれまでも、地域に根差した活動や環境保全活動、NPOや各種団体への募金活動などを積極的に進めてきました。

地球の資源や自然環境が適切に保全され、

将来の世代が必要とするものを損なうことなく、現在の世代の要求を満たすような開発が行われている、そんな持続可能な社会を目指して行動してきています。

これからは、さらにスカウトが一丸となってこの世界共通の国際目標に取り組み、普段の生活から意識し活動していくこと、それが当たり前の社会になっていくために私たちができることを、一緒に考えていきましょう。



い商品に使われている「パーム油」を知っていますか？パーム油はアブラヤシという木から作られますが、育てるために多くの森林が伐採されて農園が作られます。農園が変わった森林は、元には戻りません。森林がなくなると動植物はその生息地が奪われます。また、油を生産するためには大量の燃料を使うため、二酸化炭素が排出されて、気候変動にも影響が出ます。

何気なく使う道具や食材がどのように作られているのか、どうやって自分の手元にやってくるのか、みんなで話し合ってみましょう。

## 参加してみよう！ 寄付月間

貧しい人や困っている人、  
誰かのために役に立てる



さまざまな活動のなかで、スカウトたちは知識や技術を身につけ、自分が進むべき道や問題を解決する方法に辿り着きます。昨年の全国スカウトフォーラムでは、NPOと協働したワークショップや、自分たちができる社会貢献について議論しました。知識や技能は、プログラムだけでなく、普段の生活でも生かすことのできるものです。

たとえば、スカウトが行う募金活動。「この募金は誰のためのものなのか」を学んだり、「どこの団体に募金するのか」を自分たちで決めたりすることもあります。ユニセフや被災



地支援のためなど、その意図を知り行動することにより、世界や社会の情勢を知ることや、自分自身が「誰かの助けになりたい」という心を育みます。

私たちは「日本で一番募金箱を持ち、多くの人たちのご厚意を集めている団体」かもしれませんが、街角で直接募金の協力を呼びかけ、「ボーイスカウトなら安心」と多くの方の善意をお預かりできていることを誇りに、活動に参加しませんか？

12月の寄付月間にあわせ、ボーイスカウト「全国募金箱調査」を行います。

右記のQRコードから、「いつ、どんな募金を、何箱募金箱をもって、どのくらいの金額をお預かりしたか」といった内容を専用フォームに入力するだけの簡単な調査です。皆さんの隊や団で、どんな募金活動を行ったか、ぜひ教えてください。



寄付月間（Giving December）は、12月1日から31日の間、NPOや大学、企業、行政などで寄付にかかわる主な関係者が幅広く集い、寄付が人々の幸せを生み出す社会をつくるために協働して行う全国的なキャンペーンです。ボーイスカウトは寄付月間のリードパートナーになっています。

<http://giving12.jp/>



Life in the Open  
(ベーデン・パウエル『スカウティング・フォア・ボーイズ』より)

# スカウトハイクで発揮しよう、ナビゲーションと観察・推理の力。

「キャンプ」とともにスカウティングの重要なプログラムである「ハイキング」。適切な目的としっかりとしたナビゲーションスキルが成功の要です。ナビゲーションに必要なのは、①ルート全体の認識 ②現在地の確認 ③進路の維持。今号は、このナビゲーションを支える「観察と推理」の力を取り上げてみましょう（この記事は、スカウトスキルの1つとして、GPS 機器、高度計などを使用せず、国土地理院発行の地形図など、紙の地図を使って仲間と歩くことを前提にしています）。

## ナビゲーションの要素

### 1 脳内地図によるルート全体の認識

日本では、たとえ山奥でも、地図を見ずに目的地に着けるところが少なくありません。しかし、それでは自分が今どこにいてどこに向かっているのかという自覚や、達成感に乏しく、ハイキングとしては面白さや教育効果に欠けてしまうのではないのでしょうか。精密な国土地理院の地形図などは、年齢部門により活用が難しいでしょう。しかし、スカウトなら何らかの紙地図を使ってハイキングをしたいものです。

ハイクの目的から予定経路（ルート）を決めたら、紙の地図などから事前に全体の略図を作りましょう。略図なら覚えやすい。仲間と歩くスカウトハイクでは、メンバー全員がそれぞれ自ら略図を紙に描き、それを覚え、この脳内地図を常に意識してナビゲーションしてみましょう。もちろん紙の地図も持って行きます。

国土地理院地形図の記号を知り、等高線が読めれば、各自で略図をもっと詳しくできるだけでなく、2D の地図を脳内で3D にできます。

### 2 観察による現在地の確認

ハイク中は、自分が今どこにいるかを知ることが大切です。

- ① ルート全体の脳内地図とそこまで歩いたルートをもとに、現在地を大まかに推測。
- ② 周りの遠近の地物（ちづつ：自然、人工を問わず地上にあるあらゆるもの）を観察して、現在位置判定の参考になる目標物、つまり谷や尾根、峰、森林、池などの自然物、人工物（建物や道路、高圧線など）を選び、指標物とする。
- ③ 地図を正置（地図を回して、地図の方位（磁北線）とコンパスの磁針を合わせる）する。地形を見るだけで地図を正置できたり、時刻と太陽の位置から方位がわかったりすることもある。
- ④ 通常は、自分の歩いてきた道（沢筋や尾根筋などの場合が多い）が地図上でわかっているので、それをもとに、指標物と地図を照合して現在地を確認する。
- ⑤ コンパスを使って地図上の現在地を探す。

コンパスで目標物の方位角をきちんと測り、地図を使った1点確認法、2点確認法（参考本①を参照）や、2つの指標物を見通す方法で、より正確に現在地を求めることができます。ただし、経験が少ない場合は時間がかかるので、あらかじめタイムスケジュールに入れておきましょう。画板や鉛筆などを準備するとよいでしょう。

そして、現在地がわかったら、観察と推理の結果を全員で再確認しましょう。



### 3 推理による進路の維持

「通過地点の意識」と「地形の先読み」、「進行方向の決定」を繰り返して、進路を維持します。

- ① 脳内地図で自分が全体のどこまで進んだのか常に意識していること。
- ② 周囲の状況（地物）を観察し、今どの辺りを通っているか判断し、適切な進行方向を決める。
- ③ 山道では、傾斜が急になったからそろそろ沢を渡るのか、峰が近くなったから巻き道との分岐点が近いかなど、地形を先読みする。休憩地点の設定にも役立つ。
- ④ 進行中は次のことにも気をつけたい。
  - (1) 自分の「観察と推理」の結果を疑ってみる。「疑い」はメンバーに話してみる。
  - (2) いつでも冷静に。進路を間違えると、気づいたときは時間的に取り戻すことができないことが多い。そこで時間（20分ごとなど）で現在地を確認することも必要である（スカウトには迷ったら引き返すことを徹底させることが大切）。
  - (3) 記録をつける。地図やメモ帳に通過地点や時刻を記入するだけでも、報告や後日のハイクの参考になるだろう。

## 参考

### 「ディバイダー・コンパス」

プレート部分が分かれ、それを活用できるちょっと便利なコンパスです。

製品：スポルディング 4in1 マップコンパス  
150S オイルコンパス / エバートラスト / 東京磁石工業株式会社 2,475円（税込 / 2019年10月現在）詳しくはweb検索を



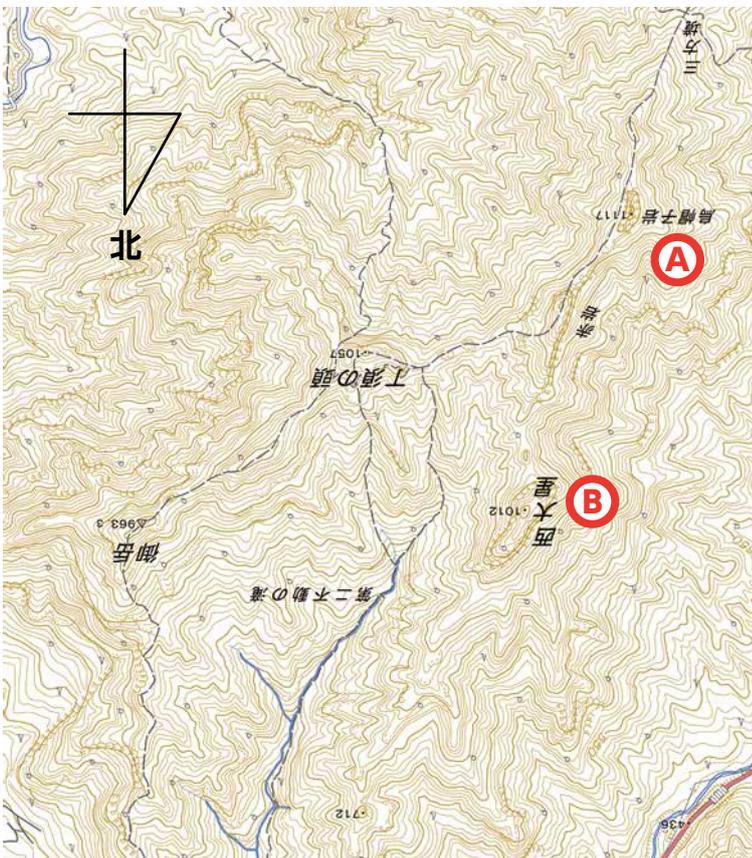
プレートが2つに分かれるので、2点確認法を片手で行うときに便利。



- ① 1点確認法のとおり、エッジが長いので便利。
- ② ディバイダーとして、少し曲がったコースを測れる（計測結果は短くなる）。
- ③ 地図に磁北線を引いていない場合、地図の外枠を使って地図を正置するときに便利。

実例 A

稜線と峰を観察しよう。



国土地理院2万5千分1地形図「南軽井沢」(平成27年4月調整より原寸)



東南に進み、近くから見た稜線。もう少し進むと㉔と㉕の「見通し法」で現在地がすぐわかるだろう。



北から見た、特徴ある稜線。

実例 B

図上の頭上も見てみよう。



国土地理院2万5千分1地形図「霧ヶ峰」(平成27年2月調整)より 原寸



登山道を南に下り、国道の曲がり道に出た。㉔か㉕。さて今どちらの下山口か。頭上を見たら高圧線があり、現在地がわかった。㉔地点。

今月のお勧め本、参考本

1



ボイスカウト日本連盟編発行  
スカウトライブラリー  
『地図とコンパス  
スカウトのためのオリエンテーリング』  
1982年/本体500円

2



村越真・宮内佐季子  
『山岳読図 ナヴィゲーション 大全』  
2017年/山と溪谷社/本体1,900円

3



横山雄三  
『登山者のための 地図とコンパスの使い方  
—あなたの方法は間違っている—』  
2003年/成山堂書店/本体2,000円

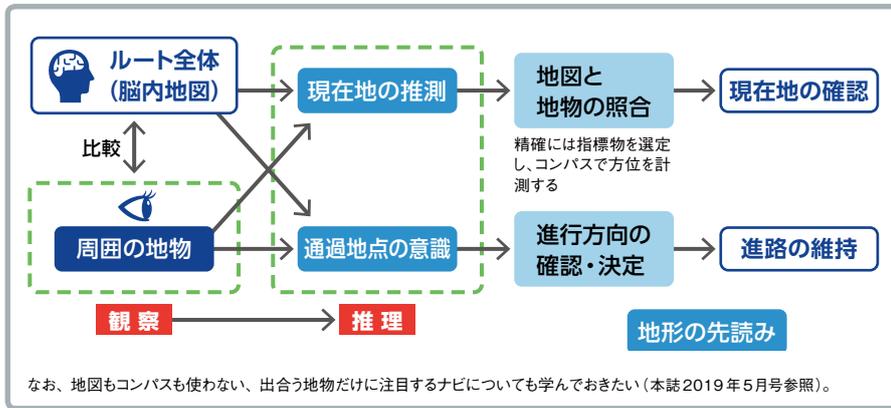
ここ30年ほどで国土地理院の地図は様式がだいぶ変わったが、コンパスと地図の関係はほとんど変わっていない。オリエンテーリング・ゲームの解説が収録されているが、内容はコンパスの使用法が主で、簡潔に説明されている。まずはこの本で基本スキルを学ぼう。

地図読みの基礎からナビゲーションのスキルまで、親切に体系的に解説してある。方位とともに地図の等高線を読めることがとても大事なスキルであることがよくわかる。

道迷いを防ぐ方法も、スカウトの指導者として必読だろう。GPS 活用の紹介もあるが、基本は紙地図とコンパスの活用法の解説で、おおいに参考になる。

スカウトハイクには定番のプレートタイプのコンパスだけでなく、各種コンパスの優劣、持ち方、観測の精度まで、ていねいに紹介してある。かなり難しいのでスカウトにはお勧めできないが、地図とコンパスの活用に興味をもつ指導者には、読み応えのある一冊だ。

ナビゲーションと観察・推理



歩きながらの観察と推理の力。それを養うには、進級課目や技能章などに挑戦するのは当然として、日常的には次のようなことに努めてみましょう。

① 初めて歩く道では 見えるものを何でも観察・推理しましょう。街中では、店構えや看板などを、郊外では畑の作物や遠く山並みなど、何でも観察し、なぜそうなっているか推理してみましょう。Look Wide!

② なじみの道では 道端の物をさらに細部まで観察して記憶しましょう。通学、塾通い、スカウトの集会に出る道など、慣れた道では、さらに細かく物事を見えます。様子が変わったもの、同じようなものは、そのわずかな差異にも注目して、その理由を推理してみましょう。

※スカウトの活動の場は野山とは限りません。次回は人と会うことが多い、街中での観察と推理について考えます。



# スカウト運動への 財政面でのご支援、 誠にありがとうございます ございます!



スカウト運動の支援には「人」「物」「財政」の3つの面があります。

維持会員として財政面でのご支援をいただくことは、スカウト運動の維持・発展において、大変重要な役割を担っています。

日本連盟では、青少年の健全育成のための事業を計画・実施しております。これらの事業を推進していくためには、皆さまからのご支援が不可欠です。現在、維持会員として、多くの個人・法人・団体の皆さまよりご支援をいただいておりますが、今後も引き続きスカウト運動への財政面でのご支援・ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

## 皆さまからのご厚志は

- ジャンボリー、アグーナリー（障がいのあるスカウト等の大会）等の各種大会の開催
- 国際社会で活躍し、貢献できる人材育成のためのプログラム開発や国際交流事業の実施
- 野外教育活動の幅広い展開のための野営場や研修宿泊施設の整備
- ボランティア指導者の育成強化等に活用しています。

## 10,000円の円内に置き換えると

(2018年度決算に基づいた例)



- 指導者養成 567円
- 国際関係 397円
- その他の活動 502円

## マンスリーサポート(継続的支援)

月々1,000円から支援が可能です

クレジットカードで毎月定額のお支払いによる寄付を

導入しております。これまで、郵便振替などでご支援いただいていた方につきましても、クレジットカードでの寄付に切り替えることが可能です。

※個人からの寄付に限ります。 ※ご利用いただけるカードは VISA、MASTER、JCB、AMEX、DINERS です。

## 維持会員の会費

- 入会されますと、会員章(襟章)をお贈りいたします(法人の場合は会員証)。
- 「維持会員だより」等の定期刊行物によりボーイスカウトの活動状況をお知らせします。

通常維持会員	年額 1万円より
特別維持会員	年額 10万円より
法人維持会員	年額 10万円より

## お申し込み・お問い合わせ

日本連盟ホームページから申込書がダウンロードできますのでご利用ください。

(URL) <http://www.scout.or.jp/support/>

担当:事務局 社会連携・広報部

TEL: 03-6913-6262 / FAX: 03-6913-6263

Eメール: [hello@scout.or.jp](mailto:hello@scout.or.jp)

## 維持会員(敬称略)

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の皆さまです。

### ご支援ありがとうございます

2019年 7~8月度

#### 【北海道】

- 三浦 武
- 大橋 和子
- 北 秀継
- 市場 尚延
- 西岡 浩
- 中川 笑子
- 岡田 聡
- 徳永 教好
- 樟本 賢首
- 寺迫 公裕
- B S 札幌 1
- B S 札幌 2.2
- BS釧路地区協議会
- 北見BS育成会(術カッティングクラブ)
- 【青森】
- 黒澤 憲一郎
- 入間 正智
- 根岸 英樹
- 和田 有平
- 【岩手】
- 奥田 耕一
- 千田 庄寿
- 高橋 春生
- 金田 弘子
- 佐々木 齊
- B S 金石 2
- 東北アルフレック(株)
- (株)元持
- 諏訪 神社
- 菱和建設(株)
- 【宮城】
- 郷家 照夫
- 佐藤 元通
- 佐々木 紀郎
- 野中 孝三
- 和田 岑生
- 横澤 繁
- 佐藤 善久
- 芳賀 文蔵
- 松岡 健美
- 菅野 五郎
- 【秋田】
- 安田 孝司
- 糸屋 幸
- 佐川 芳子
- 藤原 隆
- 小場 文明
- 山本 高敬
- 熊谷 正司
- 中川 猛夫
- 東海林 正雄
- 川合 俊昭
- (株)秋田クボタ
- 【山形】
- 大沼 保義
- 佐藤 憲義
- (株)山形新聞社
- 山形放送(株)
- 【福島】
- 工藤 信行
- 赤城 良一
- 木田 晃平
- 【茨城】
- 佐野 英樹
- 三浦 勉
- 戸部 善敬
- 青木 正志
- 久保 勝男
- 津久井 一茂
- 若生 悦男
- 藤縄 明彦
- 横川 浩
- 平澤 正則
- 菅原 英幸
- 生田 元典
- 関彰商事(株)
- 【栃木】
- 中臣 正範
- 新井 政一郎
- 嶋志田 博
- 白澤 嘉宏
- 立正佼正会鹿沼教会
- 【群馬】
- 新藤 信夫
- 新井 三知夫
- 萩原 修首
- 奈良橋 俊宏
- 小松 俊一
- 國時 武
- 林 高行
- 船津 保雄
- 小倉 豊人
- 大川 由明
- 市川 幸宏
- 久保田 順一
- 高松 富雄
- 荻原 幸雄
- 【埼玉】
- 岡田 良一
- 三日月 勝三
- 霜田 豊
- 登坂 重治
- 小野寺 昭夫
- 亀井 實
- 高橋 義雄
- 中村 哲
- 松村 澄子
- 島田 重夫
- 相川 宗一
- 川島 英正
- 堀江 誠一
- 石川 巖
- 浅見 弘明
- 木村 照男
- 武田 哲
- 坂本 裕夫
- 林田 俊介
- 樋渡 重和
- 菊池 清
- 角尾 雅也
- 竹内 儀治
- 栗原 均
- 石山 貴宣
- 岩田 宏
- 柿沼 幸一
- 田中 政司
- 男澤 望
- 高橋 健一
- BSさいたま1
- BSさいたま13
- BSさいたま208
- BSさいたま212
- B S 越谷 10
- B S 行田 1
- B S 久喜 1
- B S 久喜 1.3
- B S 蕨 2
- BSさいたま9育成会
- 毎日興業(株)
- (株)昭和製作所
- 【千葉】
- 大門 忠兵衛
- 鈴木 國夫
- 早坂 典男
- 島 孝之
- 小川 信一
- 岸本 幾代
- 新行内 正巳
- 木村 政夫
- 立川 征彦
- 青木 勇
- 関口 陽市
- 星 淳一
- 香取 秀紀
- 谷崎 久志
- 田岡 邦行
- 山下 博行
- 杉村 直
- 最首 守雄
- 田部 俊彦
- 伊藤 知
- 篠田 哲彦
- 藤本 寛子
- 小野 泰紀
- 山下 泰江
- 針谷 誠一
- 白井 正治
- 丸 秀昭
- 曾根田 博
- 高橋 雅彦
- 小野寺 克文
- 山本 勲
- 小林 恒行
- 宇治 隆雄
- 笹本 洋二
- 井上 美恵
- 佐藤 耕一
- B S 市原 1
- (株)新昭和
- (株)市川学園
- 【神奈川】
- 仲戸川 勲
- 葉袋 豊夫
- 市原 政喜
- 山田 豊
- 根岸 進一
- 鈴木 令子
- 水野 英明
- 渡部 公
- 田中 智
- 斉藤 彰
- 藤田 利子
- 関戸 俊男
- 木村 耕三
- 池田 耕三
- 佐藤 真一
- 井上 延義
- 大村 貞雄
- 磯田 磨梨子
- 作田 豊彦
- 小島 清
- 織田 弘幸
- 浜田 雅弘
- 吉原 滋彌
- 高橋 一夫
- 池田 曠
- 坂山 直
- 岡竹 俊三
- 中川 玄一
- 吉川 純
- 伊藤 健三
- 太田 勉
- 藤本 欣司
- 窪田 雄一
- 河口 友喜
- 武道 章
- 石窪 光高
- 守屋 幸
- 相原 広正
- 下田 昭
- 柳下 裕明
- 砂原 肇
- 上倉 哲夫
- 木村 寿宏
- 吉田 章
- 近藤 明彦
- 河崎 栄作
- 水上 章子
- B S 川崎 4.3
- B S 横浜 3.1
- B S 横浜 4.3
- B S 横浜 6.1
- B S 横浜 6.5
- B S 横浜 7.4
- B S 秦野 2
- B S 寒川 2
- (株)ハセガワ
- 長谷川洋一
- (株)古川工業
- 【山梨】
- 山岸 一芳
- 藤原 進
- 渡辺 努
- 新田 雅弘
- 榎本 亜樹
- 小宮山 貴彦
- 【東京】
- 平林 淳志
- 堀 秀之
- 岡本 圭示
- 伊藤 登
- 田辺 隆一郎
- 政子 豊
- 豊泉 喜一
- 津守 勝男
- 鈴木 眞人
- 荒井 俊雄
- 松下 健
- 才郷 正次
- 船橋 真一郎
- 大橋 仁
- 安野 哲子
- 粕谷 弥太郎
- 小山 正芳
- 倉持 和朗
- 奥村 欣利
- 塚原 勝一
- 中澤 征身
- 田中 隆
- 福浦 隆
- 高輪 真澄
- 古谷 真一郎
- 杉野 健一郎
- 柳 久之
- 北爪 太主司
- 青木 弘子
- 守安 信介
- 鈴木 秀男
- 岸 伊佐雄
- 清水 正充
- 松下 善守
- 小霧 智博
- 小島 明子
- 今井 達
- 井上 正行
- 安達 謙蔵
- 谷道 龍彦
- 上村 嘉平次
- 栗山 欽行
- 稲垣 秀明
- 渋谷 俊徳
- 横田 武憲
- 大森 和潮
- 餘多分 正敏
- 平石 和男
- 久保田 康弘
- 鈴木 高
- 黒岩 達夫
- 竹居 隆一
- 久 久
- 大神田 淳二
- 齋藤 淳二
- 石黒 秀彦
- 萩原 謙
- 細野 泰司
- 重信 千春
- 金澤 幸彦
- 良成
- 木村 一八
- 宮崎 弘
- 田口 美恵子
- 永井 敏
- 上岡 泰晴
- 宇津木 太
- 久保田 温
- B S 北 1
- B S 品川 2
- B S 品川 6
- B S 大田 3
- B S 大田 4
- B S 台東 3
- B S 町田 1.4
- B S 江東 6
- B S 台東 4
- B S 荒川 6
- B S 小平 1
- BS江戸川3育成会
- 湯島天満宮
- (株)吉田商店
- 華厳院 矢田融海
- 大多摩クラブ
- 代表 山崎常雄
- 町田デザイン専門学校
- (株)ジーティーエヌ
- (株)ルースール
- (株)正和学園
- 【新潟】
- 齊川 忠男
- 山縣 年博
- 細川 式部
- 【長野】
- 犬飼 康元
- 金子 元昭
- 西田 不折
- 山崎 康生
- 林 一男
- 高野 隆治
- 松本 捷幸
- 村田 富士雄
- 矢崎 靖雄
- 小川 賢一
- 藤川 育宏
- 福沢 勝
- 中村 紘
- 宮尾 正
- B S 茅野 1
- B S 富士見 1
- (株)東郷堂
- 富士コムテック(株)
- (株)イデア製作所
- 【岐阜】
- 太田 晃
- 小寺 兼勇
- 高田 芳明
- 木村 芳郎
- 広瀬 之彦
- 板津 敏彦
- 駒田 誠
- 浅野 一行
- 安田 勝
- 上田 明範
- 大野 雅晟
- 加藤 誠亮
- BS富山県連盟
- 鈴木 理
- 松下 智行
- 館 功
- 三浦 英夫
- 中畑 晃一
- 蒲生 健司
- 虫賀 友則
- 早川 宏治
- 服部 正次
- 谷山 鉄信
- 勝野 雅和
- 岡枝 哲夫
- 国枝 弘道
- 松岡 弘道
- 佐々木 慶一
- 小田 紘敏
- B S 岐阜 1.9
- B S 関 2
- 名鉄観光バス(株)
- 岐阜支店
- 山一商事(株)
- (株)ジー・サカイ
- 奥飛光開発(株)
- (株)マルエィ
- 伊藤配管工業(株)
- アサヒ繊維工業(株)
- 【静岡】
- 大橋 光男
- 大須賀 和美
- 田中 清司
- 土山 和雅
- 鹿島 金吾
- 柴田 尚明
- 松本 俊信
- 藤曲 敬春
- 大川 敏夫
- 鈴木 康友
- 山本 克己
- 齋藤 斗志二
- 藤田 和夫
- 川島 一郎
- 杉山 盛雄
- 吉川 雄二
- 花畑 金亨
- 杉本 忠重
- 村松 武博
- 小林 透
- 杉山 満
- 望月 義夫
- 田辺 信宏
- 西村 清矢
- 和田 篤夫
- 松永 伸弥

深津智重近藤隆福原洋高木敬三智原測量設計(株)奈良トヨタ自動車(株)	福田京子	広瀬民義	筑紫農業協同組合	前原一雅
佐藤孝誠近藤哲史藤篠田常生林田平八郎	田邊洋一	小川英治	【佐賀】	柳茂久
鈴木隆春伊吹篤松司西川幸史樋口裕之	山岸正明	西山次郎	木原清喬	奥島孝康
中嶋正志野村政昭憲一横江勳和文夫	島田薬品(株)	秋岡芳郎	菅成日佐男	笠原功
太田浩三喜幸光允晶一杉田勤一郎	又賀航一	【香川】	小池正	井上誠一郎
海野山幸登敬敏	千家尊祐	秋山上彰	牟田雄毅	虎澤恒善
杉山野幸登敬敏	小川喜多男	村上清宣	廣納章	廣高彰
大野澤昇一二猛	井口誠	松平清武	牛草達雄	高橋清
澤川金森啓一二猛	中澤梧郎	湖崎武敬	【長崎】	福原有一
村上條清正廣仁久	千家隆比古	脇田義磨	甲斐真良	大数智士
久原宗浩	出雲大社宮司	脇田賀謙	溝越博之	桜井義雄
澤川久	千家尊祐	植村良弘	白浜文代	松本進
吉川	出雲大社教管長	黒島宗幸	堀本建設(株)	西村敦
BS浜松東地区委員会	【岡山】	高城大須賀	【熊本】	山内典博
BS三島地区	岡本耕治	香川芳文	山内典博	松尾孝
【愛知】	岡本善行	細井俊道	千蔵忠尋	藤本伸一
水野真之己治順生	岡崎平	岡内清弘	【大分】	佐藤公一
宇野裕孝敬利昌	三宅照正	小川清憲	(株)大分住宅研究室	芳山憲祐
浅井孝敬利昌	金光俊平	石井英子	【宮崎】	村川保訓
林敬利昌	土岐隆信	天雲俊夫	高田昭一	河野一平
伊藤敬利昌	森定齋秀	丸山貞勝	二瓶徹	児玉英敏
加賀昌之	立間昌義	川大輔	立石貞彦	橋田和実
鈴木明之	坪井喜久太	幅山寛念	三谷幸正	小倉和彦
岩田信之	岡本卓生	坪井慈朗	井上勝利	山口洋一
浅野和宏	坪山慈朗	向井直和	堀田利知	吉田忠司
梅村幸夫	【広島】	仲岡好雄	セキ(株)	伊予銀行
熊沢直孝	豊岳文悠	ヤマチエステート(株)	【高知】	江口寿栄夫
青木清善	木村広男	園いちご啓寿会	澤村民興	澤村隆史
井本土善	中川文慧	(株)山本進重商店	永野隆史	山岡義和
井上清	安部孝次郎	三木理研工業(株)	山岡義和	【福岡】
松井清	中川孝利	【大阪】	藤玄洋	稲葉武彦
平手和二	難波壽則	奥田祐賢	岡村憲人	岡村憲人
石原亮俊	竹内善章	赤塚梅雄	安藤英典	丸林茂夫
生田正次	西浜清士	中井善晴	丸林茂夫	阿津坂秀久
西洞勝次	酒井幸雄	井上菊信	丸林茂夫	田中俊貴
村庭義夫	山崎壽之	市島明彦	丸林茂夫	【徳島】
平田新二	森本正彦	城野未明	丸林茂夫	平岡昌高
山田肥子	登世岡	井上治	丸林茂夫	荒尾節夫
沼澤光男	橋本登子	古山宗一	丸林茂夫	菊本仁
小澤清勝	吉川悦正	西川建繁	丸林茂夫	久野桂
奥谷治夫	桑原幸夫	占部訓寛	丸林茂夫	石田文夫
寺原芳雄	益田博文	塩山嘉昭	丸林茂夫	土屋勝俊
伊藤秀興	関川孝一	佐藤幸一	丸林茂夫	杉原
前山博	藤間幹夫	高見篤志	丸林茂夫	
近藤正春	BS安佐4育成会	膳師功	丸林茂夫	
山口庄司	BS広島県連盟	小林武彦	丸林茂夫	
大加藤忠三	BS北九州1	今田忠行	丸林茂夫	
近藤一郎	BS福岡2	福室忠正	丸林茂夫	
佐野守彦	BS北九州1	土井靖士	丸林茂夫	
東頭宣章	BS福岡2	片山和俊	丸林茂夫	
高多鐸夫	BS北九州1	黒田一男	丸林茂夫	
八井幸雄	BS福岡2	山口洋治	丸林茂夫	
今村耕治	BS北九州1	豊澤明	丸林茂夫	
中山貞和	BS福岡2	則次亮介	丸林茂夫	
井上俊樹	BS北九州1	瀬山哲隆	丸林茂夫	
中村直	BS福岡2	B5枚方3	丸林茂夫	
余語拓洋	BS北九州1	B5大阪79	丸林茂夫	
岡戸幸一	BS福岡2	B5大阪164	丸林茂夫	
神谷昭範	BS北九州1	B5大阪27育成会	丸林茂夫	
大原和生	BS福岡2	BS枚方3育成会	丸林茂夫	
鈴木政明	BS北九州1	豊中カトリック	丸林茂夫	
加賀敏之	BS福岡2	スカウト育成会	丸林茂夫	
西尾浩司	BS北九州1	ダイキン工業(株)	丸林茂夫	
中村安美	BS福岡2	【鳥取】	丸林茂夫	
藤江朋明	BS北九州1	田村幹夫	丸林茂夫	
椎葉浩	BS福岡2	島尾稷平	丸林茂夫	
	BS北九州1	堀部晴彦	丸林茂夫	
	BS福岡2	鳥飼敏博	丸林茂夫	

**マンスリーサポート維持会員**

毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。

<https://www.scout.or.jp/support/04/>

7~8月に入会または1年継続された方々です。

【宮城】	高山 雅光	【千葉】	児玉 春美	【兵庫】	藤原 健資
【山形】	太田 浩	【東京】	小林 司	【奈良】	佐藤 之雄
【栃木】	斎藤 明美	【京都】	井上 義雄	【岡山】	平井 清志
【埼玉】	高橋 義人			【日本】	工藤 洋介

## ヘッドランプとミニライト

紅葉の秋。錦織りなす中低山の山々の美しさに、ついつい時の流れも忘れがちになるこの季節。

しかし、中低山だからといって気を抜いてはいけません。

ごく最近、友人からこんな話を聞いた。「イヤー参ったよ、近くの標高900m弱の中低山へハイキングに行ったら、帰り道アツという間に暗くなり灯がなくて困っていたところ、ライトを持った下山する人と合流できて何とか事無きを得たんだ……」と。

東西南北、直線距離で3,000km前後にも及ぶ日本列島。

周りの地形や各地の気象条件にもよるが、夏至の6月の終わりごろ、日没から日暮れまでは約2時間くらい薄明るい。しかし、秋分過ぎた9月末あたりの日没から日暮れの薄暗さは、約1時間20分と夏に比べ40分ほど短くなる。

多少の差はあっても、夏と秋の日の入りの時刻、そして日没後の暮れ方は、秋の季節の方が日の入りが早く、思いのほかアツという間に日が暮れちゃうのだ。



数年前、八木沢ダムの沢奥で溪流釣りをしていたときのこと。天気予報では午後5時に日没のはずが、3時過ぎに西側の山の端に日が隠れたと思ったら、3時半ごろ沢全体が陰り始め、4時に薄暗くなり、4時半にはライトが必要になるほど真っ暗になった。

日没が5時なら、1時間後の6時までは薄明るいだろうと予測していた。標高1,000mの谷間の沢とはいえ、日陰になった1時間後、4時半の夜の帳の早さには驚いた。

ことわざのとおり「秋の日はつるべ落とし」である。

トレッキングやキャンプの夜に備えるライトは、両手が使えるヘッドランプがいい。

日没後の夜行トレッキングは、足元の不安定さに加え、ライトの明かりが当たる視界が狭く、地形の読み取りが難しくなる。不意のつまずきに両手が空いている方がとっさのカバーリングが容易となり、近くの木の枝や草木、岩などにしがみついても、転倒や滑落を防止することが可能になるのだ。

ヘッドランプはもちろんのこと、ヘッドランプの突然のバッテリー切れや電池交換作業に備え、予備としてミニライトを1本携帯するとい。月明かりの届かない山道や森の中の真っ暗闇では、手元さえも見えないのだ。

最近では携帯電話をライト代わりに使っている人を多く見かけるが、その機能は、少ないバッテリー容量を考えると電話機能を優先に緊急時の連絡用に残しておくべきだ。予せぬ遭難時において携帯電話は最後の命綱になりうるのだから。

もちろんヘッドランプやミニ

ライトの電池サイズを単三電池に統一することも大切なこと。互いの予備電池が単四電池やボタン電池などサイズバラバラなら、その多くの種類を余分に携帯しなければならない。特に単三電池なら全国ほとんどの雑貨店やコンビニでの入手が可能なのだ。

中低山といえども、決してあなどるなかれ。

「備えよ 常に」 忘れるべからず！

イラスト & 文：伊東孝志

いとうたかし／南国・無人島へのシーカヤック放浪旅をこよなく愛する、奄美大島生まれの小学57年生。ヤドカリを人生の師と仰ぎ、筆先に北斎を見つめ、水彩の染描(らくがき)を糧として、奄美・沖縄・東京を拠点にアウトドアライフな、古今東西南北の日々を漂流する。●伊東孝志ブログ「道草染描／みちくさらくがき」～ <http://michikusa-rakugaki.blogspot.com/>

## スカウティングに不可欠な信仰

信仰奨励委員会委員長 村上 智真

スカウトの「質」が落ちていと言われて久しくなります。「質」とは、いろいろな考え方がありますが、スカウト技能やスカウトらしい心のレベルのようなものと考えられると思いますが、この2つは相互に作用して人格を成長させますが、特に「心」はすべての基本として重要でしょう。そして、「おきて」がスカウト精神のあるべき姿を示していると思います。

ですから、「おきて」を唱和することには、みずからの成長を確認・反省し、さらによい人間になっていこうとする自覚を促すという意味があるはずで。そのためには、「おきて」だけでなく、その「副文」を唱和する機会をもっと増やしたいと思います。

私たちの営む生活は完璧とはいえません。恥ずかしいことばかりの、我執<sup>がしゅう</sup><sup>※1</sup>にとらわれた生活を繰り返しています。神や仏の教を聞き学ぶこと(仏教の信徒であれば法会<sup>ほうえ</sup><sup>※2</sup>に参加すること)は、自分自身について知ることにつながり、同時に仏の智慧・慈悲や神のめぐみに包まれていることに気づくことなのです。

きっかけさえあれば、この口で何を言い、この手足で何をやるかわからない「罪悪深重<sup>ざいあくしんじゆう</sup>」の凡夫<sup>ぼんぶ</sup>といわれるこの私たちですから、もちろん完璧な人間はいません。仏の前に、そして神の前に身を置き、道を求めて精進を続ける歩みの中で、「仏の慈悲」、「神のめぐみ」によって生かされていることに気づかせていただくのです。

スカウト活動で信仰を重要視するのは、人間としてかけがえのない「尊いいのち」をいただいた喜びを見失ってはならないからです。

最近の世相をみるにつけ、「おきて」の「副文」をいつも目にし、口にすることの大切さを強く感じます。ただ「おきて」を唱和するだけでなく、「副文」を活用し、たびたび唱和することを身につけるようにいたしましょう。また、信仰心を身につけることは、人を思いやる「セーフ・フロム・ハーム」にもつながることでもあるのです。

※1 自分だけの小さい考えにとらわれて、それから離れられないこと、我を通すこと

※2 仏法を説いたり供養を行ったりするための僧侶信徒の集まり

# ローカルホットライン Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- ……団
- ☒……地区
- ……都道府県連盟
- ◇……その他

## 青森 ■ 富士スカウト むつ市長表敬訪問

むつ第2団 団委員長 川島 明

7月25日(木)、当団から2人目の富士スカウトが誕生したことから、青森県連盟としては初めての市長表敬訪問を行いました。

当日は、青森県連盟の根岸理事長とむつ市役所を訪ね、スカウト経験者でもある宮下宗一郎市長へ、むつ市からの富士スカウト誕生を報告しました。

訪問の際、1990(平成2)年の県連盟広報誌「スカウトあおもり」に掲載されていた宮下市長のカブスカウト

時代の投稿記事を持参したところ、早々にお読みいただき大いに懐かしんでおられました。

自己紹介に続き、宮下市長の質問にハキハキと受け答えをした齋藤有初スカウトは、宮下市長から「よく頑張ってくださいね」と労いのお言葉を頂戴し、「これからは後輩の指導にもあたってください」と激励を受けました。

## 鹿児島 ■ 2019 令和元年度全国大会を終えて

全国大会運営支援委員会 委員長(鹿児島県連盟 副理事長) 稗田 将也

2019 令和元年度全国大会が、5月25日(土)と26日(日)の2日にわたり開催されました。

本州南端の鹿児島へ全国から700人を超える方々にお越しいただき、盛会の裡に終了しました。ご参加いただいた方々をはじめ、ご協力いただきました方々に改めて厚く御礼申し上げます。

期間中は晴天が続き、心配していた桜島の火山灰の影響や大きな事故もなく無事終了したことに、開催地県連盟一同、胸をなで下ろした次第です。

加盟員の少ない小さな県連盟であることを踏まえ「身の丈にあった運営をしよう」という方針で準備を進め、指導者や保護者の協力により、竹の切り出しから組み立てまで手作りで作成させたメインゲートや展示物などで全国の仲間たちをお迎えました。また、「鹿児島情報高校吹奏楽部」の伴奏や公演、交歓会では当県連盟加盟員

が関わる「川内大綱引太鼓隊」、「おごおんさあ(鹿児島祇園祭り)三番神輿」、「鹿児島縣護国神社獅子舞(鹿児島第18団VS)」や終盤の「奄美島唄」で大いに盛り上がりました。また、九州・沖縄ブロック各県連盟にもご協力いただき、鹿児島と九州の雰囲気をご存分に味わっていただけたことと思います。一方、種々不行き届きもあつたことと存じます。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

今回は、日本での開催が12年ぶりとなる、世界機構アジア太平洋地域(以下APR)委員会、APR財団資金造成晩餐会も開催され、28か国から参加者をお迎えすることができたことも大きな喜びであり、誇らしく感じております。

全国大会運営支援委員会では、「全国大会を



組織拡張に繋げよう」をもうひとつのテーマとして取り組みました。これからも加盟員一丸となって継続してまいります。来年は、鹿児島で国体が開催されます。当県連盟も微力ながらご奉仕させていただくこととなりますので、鹿児島にお越しの際はぜひお声がけください。

最後に、皆さまのますますのご健勝ご活躍をお祈りいたします。

弥栄

## ボーイスカウト最高章「富士章」



富士スカウト章を受章し、宮下市長に報告する齋藤さん

## 齋藤さん(むつ第2団 田名部高3) 県内15人目受章

日本ボーイスカウトむつ第2団の齋藤有初さん(18)＝田名部高3年＝が、ボーイスカウトの最高章である「富士スカウト章」を受章した。むつ第2団からの受章は2人目で、県内では15人目。(柿崎洋樹)

齋藤さんは2011年に入団し、ボーイスカウト活動をはじめ、世界スカウトジャンボリー、全国スカウトフォーラムなどに参加したほか、炊事章、野営章、救急章など六つの技能章を取得。第二田名部小学校で先生と授業案を練り、児童に対して実際に授業をするプロジェクトなども遂行した。隊長らの指導を受けながら、高度な野外活動など

「進学しても活動続けたい」

実地訓練を積極的に実行した。25日、日本ボーイスカウト県連盟の根岸英樹理事長

らむつ市役所を訪れた齋藤さんは、宮下宗一郎市長に「指導者のアドバース、知り合った他の地域のスカウトたちの協力があったら受章できた。むつを離れ進学する予定だが、これからも活動が続けたい」と報告した。宮下市長は「長年の経験が今回の受章につながったと思う。今後は後輩の育成にも力を入れていただきたい」と話した。

東奥日報(2019.7.26)

## 東京 □ みんなでピカピカに。

立川第10団 ポーイ隊隊長 浅倉 京子

今年の「スカウトの日」であった9月16日(月・祝)、我が立川第10団では普段から活動の集合場所になっているJR立川駅の連絡通路にある巨大な壁画を清掃させていただくことになり、団をあげて清掃奉仕を行いました。

壁画は高さが3.5mもあり、ポーイ隊以上は脚立に乗って上の方の隅々まで清掃し、カブ隊、ビーバー隊も自分たちの背が届くところを一生懸命きれいにしました。活動中は、通りかかる人たちから声をかけていただき、今までにないすてきな奉仕活動の一日になりました。

JR立川駅で16日、立川市内のポーイスカウトが壁画の清掃を行った。子どもたちにも社会貢献を体験してもらおうと、毎年9月の「スカウトの日」に行っている奉仕活動の一環で、同駅での清掃活動は初めて。

この日はポーイスカウト立川第10団の団員約40人が参加し、駅自由通路にある陶製の壁画「光と緑の祀り」(高さ約5.5m、幅10m)を清掃した。ハタキを竹の棒などの先に付けて、高い所の溝にたまったほこりを払ったり、表面を布で磨いたり、汚れを落としていた。待ち合わせ場所としても親しまれている壁画は、1983年の設置以来、本格的に清掃されたことがあまりないという。作業が進むにつれてくすみや落ち、色彩や光沢を取り戻していった。中学2年の並木恵歩君(13)は「いつも通る場所なので、自分の手で清掃できたのはうれしい」と話していた。

## 駅の壁画ピッカピカ



JR立川駅の壁画を清掃する団員たち(16日、立川市で)

読売新聞(2019.9.17)

立川第10団は、5年前に立川第1団、第5団、第7団が一緒になってできた新しい団です。各団の伝統を大切にしながら、これからも新しい挑戦をしていきたいと思っています。

## 群馬 □ 「特殊詐欺防止」啓発奉仕活動の様子がポスターに採用されました

高崎第19団 ローバー隊隊長 花岡 史子

高崎第19団ローバー隊(高崎経済大学ローバースカウト部)は、2017(平成29)年より、高崎警察署防犯協力会協賛のもと、奉仕活動として「振り込め詐欺撲滅NO詐欺」キャンペーンを行ってきました。

ビーバースカウトやカブスカウトによる「おじいちゃん、おばあちゃん、『気を付けてね』のお手紙を書こう」作戦の指導や、隔月15日の年金支給日に銀行のATM付近でチラシを配布し、不審な電話への注意喚起を行ってきました。

この度、令和元年8月23日(金)付で、これらの活動に対する感謝状を高崎警察署から授与されました。また、チラシを配布する様子が「特殊詐欺防止」ポスターに採用されました。これと同じ写真が「うちわ」「チラシ」「ポケットティッシュ」にも採用され、ポスターは各警察関係機関、銀行、ATM等に掲示される予定です。

高崎第19団ローバー隊は、これからも社会奉仕活動に貢献してまいります。



## 和歌山 □ 第15回高野山真言宗キャンポリーと伊都第1団70周年記念式典

伊都第1団 副団委員長 中石 松雄



台風10号が去った8月17日(土)から19日(月)、高野山転軸山森林公園において「生かせいのち」のテーマのもと、第15回高野山真言宗キャンポリーが開催されました。

18日(日)には、高野山大学 黎明館にて、高野山真言宗葛西管長にもご臨席いただき、伊都第1団の70周年記念式典が盛大に挙行されました。

式典の第一部では法螺貝の音が高々と鳴るなか、高野山の和太鼓クラブ「ドンカカ」の威勢のいいオープニング演奏がありました。また、自衛隊第37普通科連隊音楽隊の生演奏により、「国歌」「連盟歌」「光の路」を真言宗スカウト連絡協議会スカウトや紀北地区の仲間300人とともに歌いました。そして、長年ご苦勞のあった3人の方に感謝状と記念品を贈呈し、懐かしの70年の歩みをスライドショーで見させていただくと、場内に歓声がわき昔を偲ぶことができました。第2部も、場内の手拍子と一体になった音楽隊による演奏や女性ボーカルの歌などが式典に花を添えました。

天候に恵まれ、多くの仲間が集うキャンポリーとなり、4年後の再会を誓い合いました。ご参加いただきました皆さまにはスタッフ一同厚く感謝申し上げます。

## 日本 ◇ ほろばしや 幌馬車隊最後の集会

幌馬車の会 大石 和夫(目黒第15団 団委員)



1953(昭和28)年6月26日、戦後初の日本連盟海外派遣団であった第3回全米ジャンボリー日本派遣団(通称「幌馬車隊」)のスカウト11人、リーダー2人が横浜港を出発。ジャンボリーへの参加、北米親善の旅を終えて9月7日に帰国し、松平頼明派遣団長邸において三島総長ご夫妻をお迎えして第1回幌馬車の会を開催。以来60余年にわたり80回近く、ジャンボリー会場や日本連盟総会などで、慰霊、惜別の時も含め、ご遺族の参加などもいただきながら、絆を強くし旧交を温めてきました。「よくもちますね」と半ばあきれ顔に、また羨まじげにいわれてきましたが、過ぎし紅顔の美少年も卒寿ともなると、集まることは段々と困難になってきました。そこで66年目の帰国の日を最終の隊集会としました。犬飼康元[長野]、前田利純・絢子[兵庫]、石川孝[香川]、井上昌俊[愛媛]、磯野和夫[福岡]、松平頼武[団長息・日連]、大石(旧姓中山)和夫[東京]の諸君が集まり、療養中の上田和徳君[福岡]、石田寛さん[允之令息・東京]、今井照子さん[重信夫人・岡山]からは便りが寄せられました。

2019(令和元)年9月6日(金)、日本連盟・スカウト会館に国旗と連盟旗を整え、奥島理事長には制服で歓迎していただき、我々の多年のスカウト活動に感謝の言葉をいただきました。幌馬車隊より隊員13人連名の謝恩を込めて萬粒の一粒、「大和の森 高萩スカウトフィールド」整備記念植樹費を寄贈させていただきました。

その後、日本プレスクラブに移動して30余人の有志スカウトと合流。旧交を温めながら「語部そして伝承“没後50年村山<sup>たきつ</sup>有回顧の集い”」に参加。記念夕食会には故三森晃融君[山形]夫人の弘子さん・令嬢小園井京子さんを交え銀座で歓談を重ね、奥島理事長には最後までお付き合いをいただき、感謝の極みです。

翌7日は66年前、氷川丸の復活航海に乗船帰国した日。地元藤田忠昭[神奈川]君が合流して有形文化財の氷川丸を訪れ、金谷船長の案内で船内を巡り全米ジャンボリーからの帰国時を懐かしみつつ最後の隊集会を終えました。

若いスカウト、指導者の皆さん、時代は移り、世相は変わっても、スカウトの友情の絆は永遠であることを体感しています。互いに信じあい、尊敬しあって楽しいスカウト人生を過ごしてください。弥栄!!

## 鳥取 □ 長年継続している護岸清掃活動

西部地区 地区協議会長 田邊 洋一

日本海新聞(2019.10.2)

9月16日(月・祝)に「スカウトの日」の活動として、米子第8団と米子第11団合同で中海護岸の清掃を実施しました。約150人で実施した活動の様子が新聞に掲載されました。

※新聞の記事中、「米子第2団」とありますが、正しくは「米子第11団」です。

日本ボーイスカウト鳥取連盟西部地区協議会は9月第3日曜日の「スカウトの日」に合わせて、米子市大崎のとっとり自然環境館近くの中海護岸で清掃活動を行った。ペットボトルや空き缶などのごみ拾いに汗を流しながら、環境美化への意識を高めた。

護岸清掃は20年以上続けられており、今回は県西部で活動する米子第2団と第8団に所属する小学生から高校生までの団員約90人や指導者ら計約150人が参加して16日に実施。護岸約300mの範囲で1時間にわたって活動し、ペットボトルや空き缶、サンダル、スプレー缶などを、み袋に集めた。福米東小4年の棚田新君(10)は「いっぱいごみがあったので、きれいにできて楽しい」と話した。

同協議会の田辺洋一会長は「例年以上にプラスチックごみが多い。『行動して学ぼう』という理念の下、環境美化について考えてほしい」と話した。

(渡部ちぐみ)

### 中海護岸きれいに 米子 ボーイスカウトが清掃



護岸のごみを集める団員

## 日本連盟情報 Nov. 2019

## 10月上旬までの会議・研修など

## 8月

- 24日(土) ● 社会連携・広報フォーラム(大阪)
  - 社会連携・広報フォーラム(愛媛)
- 25日(日) ● 全国防災キャラバン2019(茨城)
- 29日(木) ● スカウト用品経営会議(第2回)
  - 運営系委員長会合(第3回)
- 31日(土) ● BVS・CS部門プログラム実証団集会(第2回)

## 9月

- 1日(日) ● 名誉会議(第1回)
  - 社会連携・広報フォーラム(兵庫)
  - 令和元年度導入訓練課程改定作業チーム会議
  - 全国防災キャラバン2019(大阪)
  - 全国防災キャラバン2019(香川)
  - 全国防災キャラバン2019(大分)
- 3日(火) ● 運営会議(第5回)
- 5日(木) ● 社会連携・広報フォーラム小委員会(第5回)
- 7日(土)～8日(日)
  - RCJフォーラム2019運営委員会(第2回)
- 8日(日) ● スカウト教育推進会議(第2回)
  - 全国防災キャラバン2019(北海道)
  - 全国防災キャラバン2019(岐阜)

- 全国防災キャラバン2019(福岡)
- 12日(木) ● 社会連携・広報定例打ち合わせ会(年度定例第9回、通算第59回)
- 13日(金) ● 財務委員会(第2回)
  - 茨城県立高萩高等学校委託事業「野外活動体験」
- 13日(金)～16日(月)
  - ウッドバッジ実修所CS課程第170期
- 15日(日) ● コミッショナー任務別研修検討タスクチーム会議(第3回)
  - 全国防災キャラバン2019(静岡)
- 16日(月) ● スカウトの日(全国各地)
  - 全国防災キャラバン2019(愛知)
- 21日(土) ● 全国防災キャラバン2019(鳥根)
- 21日(土)～26日(木)
  - ウッドクラフトコース第1期
- 22日(日) ● 全国防災キャラバン2019(東京)
  - 全国防災キャラバン2019(大阪)
- 23日(月) ● 全国防災キャラバン2019(千葉)
  - 全国防災キャラバン2019(大阪)
- 26日(木) ● 社会連携・広報定例打ち合わせ会(年度定例第10回、通算第60回)
- 28日(土) ● BVS・CS部門検討タスクチーム会議(第4回)
  - 富士特別野営2019実行委員会(第5回)
  - 社会連携・広報フォーラム(山形)
  - 社会連携・広報フォーラム(富山)
- 29日(日) ● 中途退団抑止特別委員会(第7回)

- 第18回日本スカウトジャンボリー企画委員会(第2回)
- 全国防災キャラバン2019(山形)

## 10月

- 1日(火) ● 運営会議(第6回)
- 5日(土) ● プログラム委員会(第3回)
  - スカウトソング特別委員会(第2回)
  - BVS・CS部門プログラム実証団集会(第3回)
  - 全国防災キャラバン2019(福島)
- 6日(日) ● 国際委員会(第3回)
  - 「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会(第3回)
  - プログラム委員会・指導者養成委員会正副委員長会議(第1回)
  - BS/VS部門検討タスクチーム会議(第2回)
  - 全国防災キャラバン2019(宮城)
  - 全国防災キャラバン2019(群馬)
  - 全国防災キャラバン2019(埼玉)
  - 全国防災キャラバン2019(千葉2会場)
  - 全国防災キャラバン2019(鳥取)
  - 全国防災キャラバン2019(徳島)
  - 全国防災キャラバン2019(愛媛)
  - 全国防災キャラバン2019(宮崎)
  - 全国防災キャラバン2019(沖縄)
- 8日(火) ● 理事会(第2回)



## 訃報

## 日本連盟参与 石田 文夫

日本連盟役員として長きにわたりご尽力いただいた石田文夫氏が令和元年9月14日、ご逝去されました(享年81)。謹んでご冥福をお祈りいたします。

【日本連盟専任】 広報委員(H1年～)、国際委員(H3年～)、中央審議会議員・国際委員長(H9年～)、常務理事(H12年～)、参与(H15年～)

## 友人 石田文夫さんを偲んで

日本連盟 相談役 荒尾 雅也

59年にわたる友人 石田文夫さん(日本連盟参与、東京・世田谷第1団団員)が9月14日に逝去、18日にカトリック成城教会で70年のスカウト生活を「永遠のスカウト」の歌声に送られ、帰天されました。

石田さんは旧満州・鞍山にて生を受けられ、敗戦により帰国されました。成城学園小学校に入学後、大学まで過ごされました。1949年、戦後の日本におけるスカウト運動の復活もなく成城学園を母体に発足した東京第1隊(現 世田谷第1団)に入隊し、現在に至りました。成城が彼のホームベースでもあるわけです。

生前伺ったお話で印象深いのは、1955年にカナダ・オンタリオ州ナイアガラ・オン・ザ・レイクで開催された第8回世界ジャンボリーに日本派遣団の一員として参加されたときのお話です。

現地へは、アメリカ大陸を経由して向かわれました。当時の日本の国力を反映して、太平洋横断は貨物船、アメリカ大陸横断(稚内～鹿児島間の2倍の距離)はバス。

この旅で米国の大きさ、通過する都市の力強さを体感でき、知識の吸収ができたことでした。その後の仕事の観点からも勉強になったとおっしゃられました。後年、日本連盟の広報委員、国際委員長、常務理事等を歴任されましたが、70年にわたるスカウト歴の原点がそこにあったことでしょうか。

石田さんはソニーで仕事をなさっていました。入社直後から語学力を買われ、当時新たに開設されたスイス・ツークの欧州事務所に赴任、欧州マーケットの開拓に活躍されました。その後、学校教育へのVTRの導入に活躍。さらに日本と米国でのマーケットの拡大に活躍されました。

一転、晩年には家庭菜園に熱中。胡瓜、ピーマン、茄子、トマト、ズッキーニに枝豆などなど、果てはトマトソースにまで発展、楽しまれておられました。それらはご近所のお台所まで潤されるほどだったそうです。いまのいままスカウトの石田文夫さんのご冥福を祈ります。

SCOUTING  
デジタル配信しています！

機関誌『スカウティング』のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。

デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに、いつでも読むことができます。

ぜひご利用ください。



ID: scouting-magazine

PASS: sonaeyotuneni

URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>

全国のリーダーに新年のご挨拶を!

SCOUTING 2020年1月号

# 新春 名刺交換のご案内



日ごろより、機関誌『スカウティング』をご愛読いただき厚くお礼申し上げます。

さて、来年も『スカウティング』1月号に、恒例の「新春 名刺交換」のページを設けます。お名前のほか、15字程度のメッセージを添えることもできますので、全国のスカウト指導者の皆さまへの年始のご挨拶として、年賀状代わりにぜひご利用ください。皆さまのお申し込みをお待ちしております。

## ■規格：1口 24ミリ×62ミリ(横型)

※原稿は、お名前の他に住所等の連絡先、役職名または、15字程度のメッセージとします。

謹賀新年 今年もよろしく  
ボーイスカウト□□□□連盟○○○○地区

委員長 **鈴木 一朗**

〒167-0022 東京都杉並区下井草4丁目4番3号  
tel 03-6913-6262 E-mail scouting@scout.or.jp

## ■掲載料：1口 8,000円(消費税込)

## ■締め切り：2019年11月20日(水) 必着

## ■原稿：

Eメール・FAX・郵送でお送りください。お申し込みは最大66口(1頁33口×2頁/見開き)まで承ります(書体の指定はご容赦ください)。なお、自筆(毛筆書体など)原稿をそのまま掲載することやイラスト、ロゴ等の挿入が可能です(カラー掲載できます)。ご希望の方は規格サイズのデータを作成のうえ、ご送付ください。デジタルデータの場合はご相談ください。

## ■送金方法：次のいずれかの方法でお送りください。

### 郵便振替

00130-1-56119 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

### 銀行振込

三菱UFJ銀行 春日町支店 普通預金 No.0383873

みずほ銀行 本郷支店 普通預金 No.2855005

※いずれも、口座名は「公益財団法人ボーイスカウト日本連盟」

### 現金書留

「名刺交換」と明記の上、日本連盟 社会連携・広報部宛にご送付ください。

※郵便局または銀行が発行する受領証をもって領収書にかえさせていただきます。請求書や領収書が必要な場合はご連絡ください。

## ■お申し込み・お問い合わせ先：

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局 社会連携・広報部  
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3  
TEL 03-6913-6262(代表) / FAX 03-6913-6263  
Eメール scouting@scout.or.jp

2020  
No.735

1

SCOUTING

次号予告

次号の『スカウティング』は、2020年1月1日発行

特集

# お正月特大号

日本連盟創立100周年まであと2年。2020年は日本アグーナリーの開催年です。

1月号では毎年恒例の新春名刺交換や理事長、日本連盟コミッショナーの新春メッセージなどを予定しております。

なんでも応募先

☞ 公益財団法人 ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』投稿係

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 電話 03-6913-6262(代表) FAX 03-6913-6263 Eメール scouting@scout.or.jp

## 投稿規定

本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があり、また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんのお投稿をお待ちしております。

日本連盟ホームページはこちら ☞

<https://www.scout.or.jp>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟『スカウティング』2019年11月号 No.734 令和元年11月1日発行(奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 <https://www.scout.or.jp>

「スカウティング」は、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は団での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月～8月に新規、追加登録申請が承認された場合：5月号から当該月号を同封にて送付(例：8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封) ②9月～翌年3月に登録申請が承認された場合：11月号から当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、5月号～9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に間に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。

©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2019 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部(代表 TEL:03-6913-6262)までご連絡ください。

## 日本連盟からの お知らせ

日本連盟では、各企業との間でボーイスカウトの加盟員特典を提携しております。

この度、株式会社メガスポーツが運営するスポーツ用品店「スポーツオーソリティ」における、ボーイスカウト加盟登録証提示による割引特典の提携が終了となりましたので、お知

らせいたします。

今後も、加盟員の皆さまに有益な特典等の提携を結んでまいりたいと思います。なお、加盟員特典に関する情報は、日本連盟ホームページにて順次更新いたします。詳細は、日本連盟ホームページをご確認ください。



SCOUT SHOP JAPAN  
Official Shop of the Scout Association of Japan

ONLINE SHOP



SCOUTING 2019/11

734

スカウトイング  
昭和33年12月15日 第3種郵便物認可  
令和元年11月1日発行(奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟  
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3  
電話 03 (6913) 6262 (代)

定価 ¥200 (税込)  
郵便振替 00130-1-66119  
口座名義 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

2019.11.1 ONLINE SHOP PRE-OPEN !

## スカウトシャツ

¥4,070 (税込)

ボーイスカウト隊から指導者まで共通の制服です。

サイズ

- 150    155    160    165  
 170    175    180    180X

[>サイズ一覧表](#)

カートに入れる



現在準備中の ONLINE SHOP を、2019 年 11 月 1 日に一部プレオープンいたします。取り扱い是一部商品のみ、その他の商品は今後のグランドオープンに向けて整備いたします。会員登録していただくと、今後さまざまな情報やお得な情報などをお送りする予定です。ぜひ ONLINE SHOP にアクセスしてください！

ONLINE SHOP URL <https://www.scoutshop.jp>

※サイトデザインはイメージです。



SCOUT SHOP JAPAN  
Official Shop of the Scout Association of Japan

